現場説明書（技術的事項）

工事名称　加茂公園野球場便所改修工事

1　現場の状況

工事場所は、福山市加茂町地内にある、加茂公園野球場内です。
工事期間中も市民が野球場を利用します。

2　別途工事

・給排水衛生設備工事

3　留意事項

(1)　9 月 20 日（日）に野球大会が行われますので、工事の着手は野球大会後としてください。

(2)　仮囲い等については、設計図書等を基に確実に行い、工事途上で屋外工事等のために仮囲い等の移設又は一時撤去復旧が必要となった場合は、関連工事と十分な調整を行い、必要に応じて工事範囲の明示と安全の確保を行ってください。

(3)　本工事場所の進入口及び通路は、公園使用に際し工事期間中も確保する必要があるため、各入口や通路の通行と安全の確保を行ってください。

(4)　現場着手日及び工事関係車両の駐車場の計画は、監督員と協議の上、決定してください。

(5)　受注者は、野球の練習等を円滑に行えるよう、地域との調整に努めてください。

4　一般留意事

(1)　工事に当たっては、交通渋滞、騒音、粉塵、振動、汚染排水等により、近隣住民に迷惑のかからないよう十分配慮してください。

(2)　工事期間中も野球場を使用しているため、工事関係者はもとより、第三者への安全確保に必要な対策を講じてください。

(3)　工事車両等の進入・退出・停車等に当たっては十分な注意を払い、通行者等の安全を第一に図ってください。

(4)　資材の搬入、搬出時にはシート等でカバーするなど、土砂・木片等が飛散しないよう注意するとともに、タイヤ等に付着した土砂によって道路汚損等のないように注意してください。

(5)　道路等を汚損した場合は、速やかに清掃等の復旧を行い、工事期間中の進入、退出路に係る維持管理（舗装・構造物等の保護養生、補修等）は、受注者で行ってください。

(6)　工事場所外においても、駐車違反、速度制限、積載制限等交通法規を遵守し、事故防止に万全を期してください。

(7)　工事に係る留意事項は、協力業者、資材納入業者等にも指導を徹底してください。

(8)　工事現場内の資機材の保管等については、受注者において十分な管理を行い、各工種・工程における廃材・ごみ等についても、受注者の責任において遅滞なく処理してください。

(9)　実施工程表は、契約後１４日以内に提出し承諾を受けてください。また、施工関係書についても速やかに提出し、承諾を受けてください。
(10)　工事により周囲の建物や工作物に汚損等が生じた場合は、監督員及び施設管理者に報告するとともに、受注者の責任で速やかに復旧してください。
(11)　はつり工事等施設使用に影響を及ぼす作業については、十分な騒音・粉塵対策を講じてください。
(12)　特定建設資材は再資源化に努め、産業廃棄物は関係法令に従い適切に処理してください。
(13)　工事施工に必要な官公署への手続は、受注者の責任において速やかに行い、手続を行った場合は、速やかに報告してください。
(14)　受注者は、地元企業、地場製品の活用に努めてください。
(15)　受注者は、各種工事の職種を問わず、積極的に「技能士」適用に努めてください。

加茂公園野球場便所改修工事

図　面　目　録	
図面番号	図　面　名　称
1	建築改修工事特記仕様書　No-1
2	建築改修工事特記仕様書　No-2
3	建築改修工事特記仕様書　No-3
4	建築改修工事特記仕様書　No-4
5	建築改修工事特記仕様書　No-5
6	建築改修工事特記仕様書　No-6
7	建築改修工事特記仕様書　No-7
8	建築改修工事特記仕様書　No-8
9	建築改修工事特記仕様書　No-9
１０	建築工事特記仕様書　No-1
１１	建築工事特記仕様書　No-2
１２	付近見取図・配置図
１３	平面図・建具表
１４	立面図・屋根伏図・矩計図・展開図

福山市建設局建築部営繕課				発注 2026年 7月	
主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

工事名称 加茂公園野球場便所改修工事			
図面名称 表紙・図面目録		尺度	
福山市建設局建築部営繕課		縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%	図面No

福山市建築改修工事特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1．工事場所　福山市加茂町地内

2．敷地面積　　　　　　　㎡

3．工事種目　建築一式工事

（1）　便所　鉄筋コンクリート造１階建て　延べ面積19.73㎡

（2）

（3）

（4）

（5）

4．工事範囲

※「3．工事種目」全てを工事範囲とする。

・「3．工事種目」のうち　　　　　　の全てを工事範囲とする。

・「3．工事種目」のうち　（１）　の工事範囲は次表のとおりとする。

ただし、その他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

工事種目	工事範囲
2　仮設工事	（１）
3　防水改修工事	（１）
4　外壁改修工事	（１）
5　建具改修工事	（１）
6　内装改修工事	（１）
7　塗装改修工事	（１）
8　耐震改修工事	
9　環境配慮改修工事	（１）
3　土工事	
4　地業工事	
5　鉄筋工事	
6　コンクリート工事	
20　ユニット及びその他の工事	（１）

Ⅱ　建築改修工事仕様

1．図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和７年版」（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、〇を付けたものを適用する。

・　建築工事標準詳細図（令和４年版）（以下「標準詳細図」という。）

・　建築物解体工事共通仕様書（令和４年版）

2．電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、電気設備工事の工事特記仕様書は（　／　）図、機械設備工事の工事特記仕様書は（　／　）図による。

3．特記仕様書の適用は次による。

（1）項目は、⊙　印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙　印の付いたものを適用する。

⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙ 印と　⊗　印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の［　．　．　］内の表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

Ⅲ　福山市建築改修工事仕様

本特記仕様書において、「監督職員」と記載があるものは「監督員」と読み替えるものとする。

本工事の工期は、設備工事の工期及び工事検査期間として14日を含んでいる。

本工事は、法定外の労災保険を含んでいる。

1．官公署の手続き

受注者は、発注者が行うとされている関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督職員の承諾後とする。）

2．施工中の安全確保

本工事は、交通誘導員として　　　人を見込んでいる。

交通誘導員の配置については、実施伝票（原本）及び配置状況の分かる立会写真の撮影を行い監督職員に提出する。

3．監理（主任）技術者

現場代理人及び監理（主任）技術者は、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

4．別契約の関連工事との調整等

・　施工範囲は「工事区分表」による。

・　別契約の関連工事受注者が足場などを使用する場合は無償とする。

・　別契約の関連工事受注者と工程を含めた総合的な打合せを定期的に行う。

5．施工管理

※　施工体制台帳の写しを提出する。

6．施工図及び施工計画書

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

7．保証書

次の工事について保証書を提出する。

工事区分	材料名	保証年限	備　　考
⊙　防水工事	⊙　塗膜防水	10　年	
	・	年	
	・	年	
	・	年	
・	・	年	
	・	年	
	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
・	・	年	
	・	年	
	・	年	
・	・	年	

8．引渡し後点検

引渡し後、次の点検を行う。（〇印のついたものを適用する。）

・　引渡し後点検（第１次点検）　引渡しの概ね１年後

・　引渡し後点検（第２次点検）　引渡しの概ね２年後

章｜項目｜特記事項

①　各章共通事項

⊙　一般事項

適用基準

図面、本特記仕様書、標準仕様書に記載のない事項は次による。

⊙　建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部

⊙　営繕工事写真撮影要領（令和5年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部

⊙　建築工事標準詳細図（令和4年版）　国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

・

⊙　工事実績情報システム（コリンズ）への登録

登録　［1．1．4］

⊙　する　　・

⊙　書面の書式及び取扱い

情報共有システムの適用及び機能要件　［1．1．5］

⊙　適用する

機能要件　（・　現場説明書による　）

・　遠隔臨場の実施

遠隔臨場の適用及び実施内容　［1．1．14］

・　適用する

実施内容（・　現場説明書による　・　　　）

⊙　実施工程表

概成工期　［1．2．1］

・　有り（・　現場説明書による　・　　　）　⊙　無し

⊙　工事の記録等

報告に用いる書式等　［1．2．4］

・　現場説明書による　・

⊙　改修標準仕様書１．２．４（４）により整備する工事写真については次による

「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編　令和５年版」

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

⊙　着手前・工事中写真

撮影仕様　（　※　Ｌ判程度（カラー）　）

提出仕様　（　※　Ａ４判印刷、若しくはＡ４判写真帳　）

提出部数　（　※　１部　）

・　電気保安技術者

配置　［1．3．3］

・　する　　・

⊙　施工条件

・　施工順序　［1．3．5］

（　　　）

・　工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所

（　　　）

⊙　改修標準仕様書１．３．５（１）から（３）まで以外の施工条件

⊙　現場説明書による　・

・　作業時間は、原則午前８時から午後５時までとし、通学時間帯を考慮する。

・　日曜日及び祝日に作業を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りでない。

・　週休二日適用工事（・　現場説明書による　　）

⊙　発生材の処理等

処理等　［1．3．12］

・　発注者に引渡しを要するもの

・　現場説明書による　・

⊙　特別管理型産業廃棄物の種類及び処理方法

⊙　現場説明書による　・

⊙　工事現場において再利用及び再資源化を図るもの

⊙　現場説明書による

・　ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理

（・　製造業者へ処分委託　・　管理型最終処分場で処理）

・　石綿含有せっこうボード、ひ素・カドミウム含有せっこうボード以外のせっこうボードの処理

（・　管理型最終処分場で処理　・　再資源化）

・　PCB含有シーリング材の分析調査（・　行う　・　　）

・　PCB含有シーリング材の撤去　（・　行う　・　　）

・　特別管理産業廃棄物の分析調査（・　行う　・　　）

※　建設副産物情報交換システム（ＣＯＢＲＩＳ）　（財）日本建設情報総合センター

本工事は登録対象工事であるため、受注者は、施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は、速やかに当該システムにデータの登録を行うものとする。

また、建設リサイクル法に規定する建設資材を搬入（搬出）する場合は、次表により計画書（実施書）を提出する。なお、これにより難い場合は、監督職員と協議する。

	施工計画時	工事完了時
搬入	再生資源利用計画書	再生資源利用実施書
搬出	再生資源利用促進計画書	再生資源利用促進実施書

※　本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税される。

なお、本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を含んでいる。

⊙　石綿含有建材の調査

調査　［1．5．1］

※　石綿含有建材の事前調査　・

工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。

調査範囲

・　図示による　・

貸与資料

・　分析による石綿含有建材の調査　・

分析対象

アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

資料採取箇所

・　「石綿則に基づく事前調査のアスベスト分析マニュアル【第2版】」の１．７.11による

・　図示による

⊙　施工数量調査

各章の特記による。　［1．6．2］［1．6．3］

⊙　技能士

適用

適用する技能検定の職種及び作業の種別は次表による。　［1．7．2］

適用工事種類	職　種	技能検定の作業の種別
仮設工事	とび	⊙　とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・　鉄筋組立て作業
コンクリート工事	型枠施工	・　型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・　コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・　構造物鉄工作業
コンクリートブロック・ALC パネル及び押出成形セメント板工事	ブロック建築	・　コンクリートブロック工事作業
	エーエルシーパネル施工	・　エーエルシーパネル工事作業
防水工事	防水施工	・　アスファルト防水工事作業
		⊙　ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
		・　アクリルゴム系塗膜防水工事作業
		・　合成ゴム系シート防水工事作業
		・　塩化ビニル系シート防水工事作業
		・　セメント系防水工事作業
		⊙　シーリング防水工事作業
		・　改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業
		・　改質アスファルトシート常温粘着工法防水工事作業
		・　FRP防水工事作業
石工事	石材施工	・　石張り作業
タイル工事	タイル張り	⊙　タイル張り作業
木工事	建築大工	・　大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・　内外装板金作業
金属工事	内装仕上げ施工	・　鋼製下地工事作業
	建築板金	・　内外装板金作業
左官工事	左官	・　左官作業
建具工事	サッシ施工	・　ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・　ガラス工事作業
	自動ドア施工	・　自動ドア施工作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・　金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・　ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・　ガラス工事作業
塗装工事	塗装	⊙　建築塗装作業
内装工事	内装仕上げ施工	・　プラスチック系床仕上げ工事作業
		・　カーペット系床仕上げ工事作業
		・　木質系床仕上げ工事作業
		・　ボード仕上げ工事作業
	表装	・　壁装作業
排水工事	配管	・　建築配管作業
舗装工事	路面標示施工	・　溶融ペイントハンドマーカー工事作業
		・　加熱ペイントマシンマーカー工事作業
植栽工事	造園	・　造園工事作業

・　化学物質の濃度測定

濃度測定の実施　［1．7.10］

・　適用する

測定時期　・　現場説明書による　・

測定対象化学物質

・　ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチノレベンゼン、スチレン

・

測定方法

・　パッシブ型採取機器による　・

測定対象室及び測定箇所

・　現場説明書による　・

・　技術検査

中間技術検査　［1．8．2］

・　実施回数（　　）回

・　実施する段階（　　　）

※　工事請負契約締結後、監督職員から通知

⊙　完成時の提出図書

提出図書

※　改修標準仕様書１．９．２及び１．９．３による

・

⊙　完成図

種類、記入内容等　［1．9．2］［表1．9．1］

※　改修標準仕様書　表１．９．１による

提出部数（　　）部

提出仕様（・　紙ベース　⊙　電子データ　・　　）

※　竣工図

速やかに次の図書を提出する

（※　完成図　・　施工図　）

⊙Ａ３判を２つ折りにして製本　１　部

・　　部

※電子データ提出　一式（福山市竣工図電子データ作成要領による。）

⊙ＣＡＤデータ（媒体（ＣＤ－Ｒ等）、データ形式等は監督職員の指示による。

⊙　保全に関する資料

作成等　［1．9．3］

提出部数（　１　）部

提出仕様（⊙　紙ベース　・　電子データ　・　　）

⊙　完成写真

工事完成時に次の完成写真を撮影し、監督職員に提出する。

撮影箇所　（　各室４面　）

撮影仕様　（　形　式：　※　電子データ　JPEG　フルカラー　・

画質等：　⊙　外景　4500×3000ピクセル以上で画像補正を行ったもの

⊙　各室　1280×960ピクセル以上かつデジタルカメラの設定のうち最高の画質

・　）

提出仕様　（⊗　電子データ　・　アルバム（Ａ４判程度）　1部　⊙　写真帳　1部　）

検査後１４日以内に提出する。

電子データ形式等は、監督職員の指示による。

②　仮設工事

・　騒音・粉じん等の対策

・　防音パネル　［2．1．3］

・　防音シート

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲

・　図示による　・

⊙　足場等

外部足場　［2．2．1］［表2．2．1］

⊙　設置する（設置範囲　⊙　工事に必要な範囲　・　　）

・　設置しない

防護シート

⊙　設置する（設置範囲　⊙工事に必要な範囲　・　　）

・　設置しない

内部足場

⊙　設置する（※　脚立、足場板等　・　　）

・　設置しない

・　材料、撤去材等の運搬方法

種別（・　Ａ種　・　Ｂ種　・　Ｃ種　・　Ｄ種　・　Ｅ種 ）

C種：利用可能なエレベーター　（　　）

D種：利用可能な階段　（　　）

⊙　既存部分の養生

養生方法等　［2．3．1］

⊙　既存部分

養生方法（　※　ビニルシート、合板　・　　）

⊙　既存家具、既存設備等

養生方法（　※　ビニルシート等　・　　）

・　既存ブラインド、カーテン等

養生方法（・　ビニルシート等　・　　）

保管場所（・　図示による　・　　）

・　固定された備品、机、ロッカー等の移動

・　図示による　・

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

・　仮設間仕切り

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所　［2．3．2］［表2．3．1］

・　図示による（仮設扉）　・

仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填
・A種	・　せっこうボード 種類（・　　） 厚さ（　※　9.5mm　・　mm ）	・　なし ・　片面 ・	グラスウール 厚さ　mm
・B種	・　合板 材種（・　　） 厚さ（　※　9mm　・　mm ） ・		
・C種	防炎シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※　木製	※　合板張り程度	・　なし	・　か所
・	・	・　片面	・　図示による

⊙　監督職員事務所等

監督職員事務所等　［2．4．1］

建物

・　設置する　⊙　設置しない

規模、仕上げの程度

・　現場説明書による　・

設備

※　監督職員との協議による

・　現場説明書による　・

備品等の種類及び数量

・　現場説明書による　・

⊙　工事用水

構内既存の施設

・　利用できない　⊙　利用できる（⊙　有償　・　無償　）

⊙　工事用電力

構内既存の施設

・　利用できない　⊙　利用できる（⊙　有償　・　無償　）

工事名称	
加茂公園野球場便所改修工事	
図面名称：建築改修工事特記仕様書　No-1	尺度：図示
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率：A1=100%　A2= 71%　A3= 50%　図面No：1/14

Ver.2601

章	項目	特記事項
③ 防水改修工事	・ 施工数量調査	調査範囲 [1.6.2][1.6.3] ・ 図示による ・ 調査方法 ・ 図示による ・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示による ・ 調査報告書（提出部数 ・ 2部 ・ ）
	⊙ 降雨等に対する養生方法（とい共）	※ 改修標準仕様書３．１．３(5)(ア)～(ウ)による [3.1.3] ・
	⊙ 改修工法の種類及び工程	防水改修工法 [3.1.4] ・ 図示による ・
	⊙ 既存防水層の処理	既存保護層の撤去 [3.1.4][3.2.6] ・ 行う（範囲 ・ 図示による ・ ） ・ 行わない 既存防水層の撤去 ⊙ 行う（範囲 ・ 図示による ・ ） ・ 行わない 既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・ 行う（ ・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X ） ・ 行わない 立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去 ⊙ 行う （ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ M4S ・ M4SI ・ S4S ・ S4SI ） ・ 行わない（ ・ POAS ・ POASI ・ POD ・ PODI ・ POS ・ POSI ・ POX ・ M4S ・ M4SI ・ S4S ・ S4SI ） 屋内防水 ・ 保護層を新設 （範囲 ・ 図示による ・ ）
	⊙ 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 [3.2.6] ⊙ 図示による ・ POS工法及びPOSI工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置 ※ 改修標準仕様書３．２．６（４）（ウ）（g）①～③による ・ 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理 ※ 監督職員と協議する ・ 図示による
	・ アスファルト防水	新設防水層（屋根保護絶縁工法）の種別 [3.2.5][3.3.2～3.3.5]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・ P2A	・ A-1			※ ポリスチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 又はフラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・
	・ A-2			
	・ A-3			
・ P1B	・ B-1			
	・ B-2			
・ P2AI	・ AI-1		（種類） ※ JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム1断熱材3種bA（スキン層付き） （厚さ）(mm) ・	※ フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・
	・ AI-2			
	・ AI-3			
・ P1BI	・ BI-1			
	・ BI-2			

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表３．３．５及び表３．３．６による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※R種 ・
厚さ （ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表３．３．３及び表３．３．４による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種 ・
厚さ （ ）mm以上
押え金物の材質及び形状寸法
※ アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度
・
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上 ・
コンクリートの仕上りの平たんさの種別（ 種）
床タイル張り ※ 水下 60mm以上 ・
立上り部の保護方法
・ 乾式保護材（乾式保護材の材料 ・ ）
・ コンクリート押え
・ モルタル押え（屋内等）
・ れんが押え（ ・ 図示による ・ ）
れんがの材料（※JIS R 1250 ・ ）
新設防水層（屋根露出工法）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水	備考
・ M4C	・ C-1 ・ C-2 ・ C-3 ・ C-4			・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	・ 適用する	
・ M3D ・ POD	・ D-1 ・ D-2			・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ PODI ・ M3DI ・ M4DI	・ DI-1 ・ DI-2		改修標準仕様書３．３．２(9) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表３．３．８及び表３．３．９による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種 ・
厚さ （ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表３．３．８及び表３．３．９による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種 ・
厚さ （ ）mm以上

絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※ 図示による ・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（ 個）
屋内防水
防水層の種別

工法	種別	施工箇所
・ P1E	・ E-1	
・ P2E	・ E-2	

保護層 ・ 設ける（ ※ 図示による ・ ）
・ 設けない
E-1の行程３を行う部位
※ 貯水槽、浴室等常時水に接する部位
・
屋上排水溝
※ 図示による ・

・ 改質アスファルトシート防水

新設防水層の種別 [3.2.5][3.4.2][3.4.3]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水	備考
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2			・ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	※ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	・ 適用する	
・ M3AS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1			・ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	※ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ POAS	・ AS-T3 ・ AS-T4 ・ AS-J1 ・ AS-J3			・ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	※ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
・ M3ASI ・ M4ASI ・ POASI	・ ASI-TI ・ ASI-JI		改修標準仕様書３．４．２(3)(ウ) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	※ 改質アスファルトシート製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表３．４．１から表３．４．３による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種
厚さ （ ）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表３．４．１から表３．４．３による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種
厚さ （ ）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表３．４．１から表３．４．３による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料構成による区分 ※ R種
厚さ （ ）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
・ アルミニウム製 L−30×15×2.0(mm)程度
・
屋根露出防水断熱工法の断熱材の種類及び厚さ
種類（ ）
厚さ（ ）
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
・
設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
・（ 個）
絶縁断熱工法の防湿用シート
・ 設置する ・ 設置しない

・ 合成高分子系ルーフィングシート防水

新設防水層の種別 [3.2.5][3.5.2～3.5.4]

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水	備考
・ POS ・ S4S	・ S-F1			・ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-F2					・ 適用する	
	・ S-M1			・ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・ 適用する	
	・ S-M2					・ 適用する	
・ S3S	・ S-F1	・ プレキャストコンクリート下地 ・		・ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-F2	・ プレキャストコンクリート下地 ・				・ 適用する	
・ M4S	・ S-M1			・ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない
	・ S-M2					・ 適用する	
・ POSI ・ S3SI ・ S4SI ・ M4SI	・ SI-F1	・ プレキャストコンクリート下地 ・	改修標準仕様書３．５．２(3)(エ)(b) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	※ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
	・ SI-F2					・ 適用する	
	・ SI-M1		改修標準仕様書３．５．２(3)(エ)(a) （種類） ・ （厚さ）(mm) ・	・ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・ ルーフィングシートの製造所の仕様 ・	・ 適用する	
	・ SI-M2					・ 適用する	

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※ 非歩行仕様
・ 軽歩行仕様
SI-M1及びSI-M2における防湿用フィルム
・ 設置する ・ 設置しない

屋内防水
防水層の種別

種別	施工箇所	保護層 平場のモルタル塗厚	保護層 立上り部の保護モルタル塗厚
・ S-C1		・	※ ７mm以下 ・

合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書表３．５．１から表３．５．３による
・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類 ・
厚さ ・ mm以上
絶縁用シート及び可塑剤移行防止用シートの材質
※ 発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質及び寸法形状
※ 厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
・ （ 個）
設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
・ （ 個）
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・ 行う（ ・ 図示による ・ ）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、SI-F1の場合）
・ 行う（ ・ 図示による ・ ）
・ 行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 図示による

⊙ 塗膜防水

新設防水層（ウレタンゴム系塗膜防水）の種別 [3.2.5][3.6.2][3.6.3]

改修工法	新設種別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日射反射率防水	備考
・ POX	※ X-1 ・ X-2 ・ X-1H ・ X-2H ・		・ 主材料の製造所の仕様 ・	※ 主材料の製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
⊙ L4X	・ X-1 ※ X-2 ・ X-1H ・ X-2H ・		⊙ 主材料の製造所の仕様 ・	※ 主材料の製造所の仕様 ・	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ⊙ 設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類 ※ 主材料の製造所の仕様
・
設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様
・（ 個）

新設防水層（ゴムアスファルト系塗膜防水）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	工程数及び各工程の使用量	保護層
・ P1Y	※ Y-2 ・		・ ※ 主材料の製造所の仕様による	・ 保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ（ mm）
・ P2Y	※ Y-2 ・		・ ※ 主材料の製造所の仕様による	・ 保護モルタル ・ 保護コンクリート 厚さ（ mm）

⊙ シーリング

シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.2、3][3.7.7、8]
⊙ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 拡幅シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
ボンドブレーカー張り
・ 適用する ・ 適用しない
エッジング材張り
・ 適用する ・ 適用しない

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表３．７．１による。

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
内・外建具廻り	変成シリコーン（MS-2）

仕上げを行わない施工箇所
・ 図示による ・
シーリング材の目地寸法
⊙ 図示による ・
接着性試験
※ 簡易接着性試験
・ 引張接着性試験
・ ひも状接着性試験

・ とい

といその他の材種 [3.8.2][3.8.3]
・ 配管用鋼管
・ 硬質ポリ塩化ビニル管
・ 表面処理鋼板（規格番号 ）
（表面及び裏面の塗膜の種類 ）
・
とい受金物及び足金物の材種、形状及び取付け間隔
※ 改修標準仕様書表３．８．２による
・ 図示による
多雪地域
・ 適用する ・ 適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・ 図示による ・
鋼管製といの防露巻き
※ 改修標準仕様書表３．８．４による
・
ルーフドレンの種類及び呼び

種別		呼び	施工箇所
・ ろく屋根用たて形Ｉ型	・ ねじ込み式	・	
・ ろく屋根用横形Ｉ型	・ ねじ込み式	・	
・ バルコニー中継用	・ ねじ込み式	・	
	・ 差し込み式	・	
・ バルコニー用	・ ねじ込み式	・	
	・ 差し込み式	・	

たてどい受金物の取付け
※ 図示による ・
ルーフドレンの取付け
※ 水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・

・ アルミニウム製笠木

種類 [3.9.2][3.9.3]
・ 押出形材形 （ ・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形 ）
・ 板材折曲げ形（ ・ オープン形式 ・ シール形式 ）
本体幅（ ）mm 板厚（ ※ 2.0mm ・ mm ）
表面処理
種別（ ）種
色合等 ・ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）
既存笠木等の撤去
・ 行う（範囲 ・ 図示による ・ ）
・ 行わない
下地補修の工法
※ 図示による ・
板材折曲げ形の笠木の取付方法
※ 図示による ・
笠木の固定金具の工法等
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 図示による ・

工事名称		
加茂公園野球場便所改修工事		
図面名称：建築改修工事特記仕様書 No-2	尺度：図示	
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率：A1=100% A2= 71% A3= 50%	図面No：2/14

章	項目	特記事項
4 外壁改修工事（先張事項）	⊙ 施工数量調査	調査範囲 [1.6.2][1.6.3] ⊙ 外壁改修範囲 ⊙ 図示による 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。 既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・ 図示による ・ 調査報告書の部数（ ・ ２部 ・ ）
4-1 外壁改修工事（コンクリート打放し仕上げ外壁改修）	・ ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.2.5～7] 工法の種類 / ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 / 0.2以上～1.0 未満 / ※ 200～300 ・ / ・ 130 ・ ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 / 0.2以上～0.3 未満 / ・ 50～100 ・ / ・ 40 ・ ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 / 0.3以上～0.5 未満 / ・ 100～200 ・ / ・ 70 ・ 注入工法 / 0.5以上～1.0 未満 / ・ 150～250 ・ / ・ 130 ・ 注入状況の確認方法 ※ コアの抜取りを行う 抜取り個数 ※ 長さ500mごと及びその端数につき1個 ・ 抜取り部の補修方法 ※ 図示による ・ ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ １成分形又は２成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない シーリング材の試験は改修標準仕様書３章 防水改修工事による。 ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 可とう性エポキシ樹脂
	・ 欠損部改修工法	・ 充填工法 [4.1.4][4.1.4、7] ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・
4-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁改修	⊙ ひび割れ部改修工法	・ 樹脂注入工法 [4.1.4][4.3.5～8] 工法の種類 / ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 / 0.2以上～1.0 未満 / ※ 200～300 ・ / ・ 130 ・ ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 / 0.2以上～0.3 未満 / ・ 50～100 ・ / ・ 40 ・ ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 / 0.3以上～0.5 未満 / ・ 100～200 ・ / ・ 70 ・ 注入工法 / 0.5以上～1.0 未満 / ・ 150～250 ・ / ・ 130 ・ 注入状況の確認方法 ※ コアの抜取りを行う 抜取り個数 ※ 長さ500mごと及びその端数につき１個 ・ 抜取り部の補修方法 ※ 図示による ・ ・ ⊙ Uカットシール材充填工法 ⊙ シーリング材 充填材料の種類 ※ １成分形又は２成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・ 行う ・ 行わない ・ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シール工法 ・ パテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂
	・ 欠損部改修工法	・ 充填工法 [4.1.4][4.3.5][4.3.9、10] ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル ・ モルタル塗替え工法 ・ 現場調合材料 （セメントは改修特記仕様書８．２ コンクリート工事による） ・ 既調合材料（ ） 既製目地材 ・ 使用する（形状 ・ 図示による ・ ） 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※ 図示による ・

章	項目	特記事項
	⊙ 浮き部改修工法	[4.1.4][4.3.5][4.3.11、16] 工法の種類 / アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部 / 指定部 / 注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部 / 指定部 / 注入量(mL/箇所) ⊙ アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 / ※ 16 ・ / ※ 25 ・ / — / — / ※ 25 ・ ・ アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 / ※ 13 ・ / ※ 20 ・ / ※ 12 ・ / ※ 20 ・ / ※ 25 ・ ・ アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 / ※ 13 ・ / ※ 20 ・ / ※ 12 ・ / ※ 20 ・ / ※ 50 ・ ・ 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 / ※ 9 ・ / ※ 16 ・ / — / — / ※ 25 ・ ・ 注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 / ※ 9 ・ / ※ 16 ・ / ※ 9 ・ / ※ 16 ・ / ※ 25 ・ ・ 注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 / ※ 9 ・ / ※ 16 ・ / ※ 9 ・ / ※ 16 ・ / ※ 50 ・ ・ 充填工法 / — / — / — / — / — ・ モルタル塗替え工法 / — / — / — / — / — アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・ 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径６mm程度 ・ 注入工法用材料 ・ ポリマーセメントスラリー 広がり速度(cm/s) / 長さ変化率(収縮)(%) / 引張接着性(材齢28日)(N/mm2) / 曲げ性能(材齢28日)(N/mm2) / 吸水性(72時間)(%) / 耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm2) ３以上 / ３以上 / 0.5以上 / 5.0以上 / 15以下 / 5.0以上 保水係数 0.35～0.55 粘調係数 0.50～1.00 充填工法用材料 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法用材料 ・ 現場調合材料 （セメントは改修特記仕様書８．２ コンクリート工事による） ・ 既調合材料（ ） 既製目地材 ・ 使用する（形状 ・ 図示による ・ ） 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示による
4-3 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁改修	・ タイルの形状、寸法等	タイルの形状、寸法等 [4.4.5][4.4.8] 施工箇所 / 形状／寸法(mm) / 再生材料の適用 / 吸水率による区分 Ⅰ類 / Ⅱ類 / Ⅲ類 / 他ゆう / 無ゆう / うわぐすり 有 / 無 / 役物 標準 / 特注 / 色 / 耐凍害性 有 / 無 / 耐滑り性 / 備考 見本焼き ・ 行う（施工箇所： ） ・ 行わない 試験張り ・ 行う（範囲、仕様等は図示による） ・ 行わない
	・ ひび割れ部改修工法	・樹脂注入工法 [4.1.4][4.4.5、6] 工法の種類 / ひび割れ幅(mm) / 注入口間隔(mm) / 注入量(mL/m) ※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 / 0.2以上～1.0 未満 / ※ 200～300 ・ / ・ 130 ・ ・ 手動式エポキシ樹脂注入工法 / 0.2以上～0.3 未満 / ・ 50～100 ・ / ・ 40 ・ ・ 機械式エポキシ樹脂注入工法 / 0.3以上～0.5 未満 / ・ 100～200 ・ / ・ 70 ・ 0.5以上～1.0 未満 / ・ 150～250 ・ / ・ 130 ・
	・ 欠損部改修工法	・ タイル部分張替え工法 [4.4.5][4.4.8] 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・ タイル張替え工法 張替え用材料 ・ 接着剤 JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・ 張付けモルタル （ ・ 現場調合材料 ・ 既調合モルタル ） 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 改修標準仕様書表４．４．２による ・ 図示による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法（改修標準仕様書４．３．10（３）による） ・ タイル張りの工法 ・ 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法（改修標準仕様書４．３．10（３）による） ・ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系 ・ 目地詰め（ ※ 行う ・ 行わない）

章	項目	特記事項
	・ 浮き部改修工法	[4.1.4][4.4.5、9～15] 工法の種類 / アンカーピンの本数(本/㎡) 一般部 / 指定部 / 注入口の箇所数(箇所/㎡) 一般部 / 指定部 / 注入量(mL/箇所) ・ アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 / ※ 16 ・ / ※ 25 ・ / — / — / ※ 25 ・ ・ アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 / ※ 13 ・ / ※ 20 ・ / ※ 12 ・ / ※ 20 ・ / ※ 25 ・ ・ アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 / ※ 13 ・ / ※ 20 ・ / ※ 12 ・ / ※ 20 ・ / ※ 50 ・ ・ 注入口付アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注入工法 / ※ 9 ・ / ※ 16 ・ / — / — / ※ 25 ・ ・ 注入口付アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注入工法 / ※ 9 ・ / ※ 16 ・ / ※ 9 ・ / ※ 16 ・ / ※ 25 ・ ・ 注入口付アンカーピンニング 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 / ※ 9 ・ / ※ 16 ・ / ※ 9 ・ / ※ 16 ・ / ※ 50 ・ ・ 注入口付アンカーピンニング エポキシ樹脂注入タイル固定工法 / ・ / ・ / — / — / ※ 25 ・ ・ タイル部分張替え工法 / — / — / — / — / — ・ タイル張替え工法 / — / — / — / — / — アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径４mm の丸棒で全ネジ切り加工したもの ・ 注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径６mm程度 ・ ・ タイル部分張替え工法 接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・ タイル張替え工法 張替え用材料 ・ 接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系 ・ 張付けモルタル （ ・ 現場調合材料 ・ 既調合モルタル ） 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置 ※ 改修標準仕様書表４．４．２による ・ 図示による 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験 ・ 行う ・ 行わない ・ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り 下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・目荒し工法（改修標準仕様書４．３．10（３）による） ・ タイル張りの工法 ・ 外装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ ユニットタイル ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り ・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理 ・ 目荒し工法（改修標準仕様書４．３．10（３）による） ・ シーリング材の種類 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコーン系 ・ 目地詰め（ ※ 行う ・ 行わない ）
	・ 目地改修工法	・ 目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.4.16] ・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・ 図示による
4-4 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁等改修	・ 既存塗膜等の除去下地処理及び下地調整	[4.5.4] 工法 / 処理範囲 / 下地面の補修 ・ サンダー工法 / ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による / ・ ひび割部改修工法 ・ 浮き部改修工法 ・ 欠損部改修工法 ・ 高圧水洗工法 / ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 塗膜はく離剤工法 / ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示による ・ 水洗い工法 / ※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面 ・ 図示による
	・ 下地調整塗材	※ 下地調整塗材 [4.5.2] ポリマーセメントモルタル
	・ 仕上塗材仕上げ	新規仕上塗材の種類 [4.1.5][4.5.2] ・ 薄付け仕上塗材 種類（呼び名） / 仕上げの形状 / 工法 / 防火材料 ・ / / / ・ ・ / / / ・ ・ 厚付け仕上塗材（外装厚塗材C） 種類（呼び名） / 仕上げの形状 / 工法 / 上塗り / 防火材料 ・ / / / ※ セメントスタッコ ・ / ・ ・ 厚付け仕上塗材（外装厚塗材Si、外装厚塗材E） 種類（呼び名） / 仕上げの形状 / 工法 / 上塗り / 防火材料 ・ / / / ・ 適用する / ・ ・ / / / ・ 適用する / ・

章	項目	特記事項
		・ 模層仕上塗材 種類（呼び名） / 仕上げの形状 / 工法 / 上塗材の種類 / 耐候性 / 防火材料 ・ / / / 樹脂 ※ アクリル系 ・ 外観 ※ つやあり ・ メタリック ・ 溶媒 ※ 水系 ・ / ※ 耐候形 ３種 / ・ ・ / ・ / ・ / ・ / ・ / ・ ・可とう形改修用仕上塗材 種類（呼び名） / 仕上げの形状 / 工法 / 上塗材の種類 / 耐候性 / 防火材料 ・ / / / 樹脂 ・ 外観 ・ 溶媒 ・ / ・ 耐候形 １種 ・ 耐候形 ２種 ・ 耐候形 ３種 / ・ ・ / ・ / ・ / ・ / ・ / ・
	・ 外壁用塗膜防水材塗り	仕上げの形状 [4.1.5][4.7.2、3] ・ 工法 ・ 仕上塗料の耐候性 ・ 下地挙動緩衝材の適用 ・ 適用する ・ 適用しない コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書４章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書４章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。 吹付け工法の模様材の種類 ・ （ ・ 所要量 (kg/㎡)） 外壁用仕上塗料の種類 ・ （ ・ 所要量 (kg/㎡)）
⑤ 建具改修工事	⊙ 改修工法	[5.1.3] 建具の種類 / かぶせ工法 / 撤去工法 / 適用箇所 ⊙ アルミニウム製建具 / ⊙ / ・ / ⊙ 建具表による ・ ・ 樹脂製建具 / — / ・ / ・ 建具表による ・ ・ 鋼製建具 ・ 外部 / ・ / ・ / ・ 建具表による ・ ・ 内部 / ・ / ・ / ・ 建具表による ・ ・ 鋼製軽量建具 / ・ / ・ / ・ 建具表による ・ ・ ステンレス製建具 / ・ / ・ / ・ 建具表による ・ ・ 木製建具 / ・ / ・ / ・ 建具表による ・ 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※ 図示による ・ 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示による ・ 再使用材（・ブラインドボックス等 ・ ）
	・ 防火戸	・ 指定する 適用箇所（ ・ 建具表による ・ ） [5.1.4] ・ 指定しない 防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ・ 連動させる（ ・ 建具表による ・ ） ・ 連動させない
	・ 見本の製作等	建具見本の製作 ・ 行う（建具符号： ） [5.1.5] ・ 行わない 特殊な建具の仮組 ・ 行う（建具符号： ） ・ 行わない
	・ 防犯建物部品	・ 適用する（ ・ 建具表による ・ ） [5.1.7] ・ 適用しない

工事名称	加茂公園野球場便所改修工事
図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-3
尺度	図示
縮尺率	A1=100% A2= 71% A3= 50%
図面No	3/14
福山市建設局建築部営繕課	

章	項 目	特記事項

⊙ アルミニウム製建具

性能値等 [5.2.2～5]
耐風圧性の等級（ ⊙ S-5 ）
（建具符号 ⊙ 建具表による ・ ）
気密性の等級 （ ⊙ A-4 ）
（建具符号 ⊙ 建具表による ・ ）
水密性の等級 （ ⊙ W-5 ）
（建具符号 ⊙ 建具表による ・ ）
外部に面する建具の種別
・ A種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・ B種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・ C種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
枠の見込み寸法
（ ⊙ 建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL
・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
⊙ BB-1 ・ BB-2 （改修標準仕様書表5.2.2）
着色
⊙ 標準色 ・ 特注色
屋内の建具
種別
⊙ BC-1 ・ BC-2 （改修標準仕様書表5.2.2）
着色
⊙ 標準色 ・ 特注色
結露水の処理方法
・ 水貯め式 ・ 排水式
工法
水切り板、ぜん板
※ 図示による ・

⊙ 網戸等 [5.2.3][5.3.3]

種類	材質	線径	網目
⊙ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製	※ 0.25mm以上 ・	※ 16～18メッシュ ・
・ 防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

・ 樹脂製建具

性能値等 [5.3.2～5]
耐風圧性の等級（ ・ ）
気密性の等級 （ ・ ）
水密性の等級 （ ・ ）
外部に面する建具の種別
・ A種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・ B種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
・ C種（建具符号 ・ 建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ T-1 ・ T-2 ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（ ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8 ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・建具表による
・
材料
ガラス
※ 複層ガラス
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL
・
形状及び仕上げ
表面色
・ 標準色 ・ 特注色
工法
水切り板、ぜん板
※ 図示による

・ 鋼製建具

性能値等 [5.4.2～6]
簡易気密型ドアセット
・ 適用する
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
・ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL
・
点検口
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※ 改修標準仕様書表5．4．2による
・ mm 使用箇所（ ）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※ 建具表による
・

・ 鋼製軽量建具

性能値等 [5.5.2～6]
簡易気密型ドアセット
・ 適用する
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
・ 適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
材料
鋼板
・ 亜鉛めっき鋼板
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
・ ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の性質
※ 鋼板
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL
・
防音充填剤
・ 適用する （充填材：グラスウール又はロックウール）
・ 適用しない
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※ 改修標準仕様書表5．5．1による
・ mm 使用箇所（ ）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※ 建具表による
・

・ ステンレス製建具

性能値等 [5.6.2～5]
簡易気密型ドアセット
・ 適用する
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
・ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（ ・ ）
耐震ドア
面内変形追随性の等級（ ・ ）
（建具符号： ・ 建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※ SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL
・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※ HL
・ 鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※ 普通曲げ
・ 角出し曲げ

・ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率 [5.7.2～4]
※ A種
・
・フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※ 改修標準仕様書5．7．2（2）（イ）（a）による
・
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・ 普通合板	表面の樹種 ・ 板面の品質（ ※ 広葉樹１等 ・ ） 接着の程度（ ・ １類 ・ ２類 ）	
・ 天然木化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（ ・ １類 ・ ２類 ）	
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 ※ プリント ・ 接着の程度（ ・ １類 ・ ２類 ）	
・ MDF	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分 （ ） 耐水性による区分 （ ） 難燃性による区分 （ ）	

表面板の厚さ
※ 表5．7．6による
・
・ かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法
※ 36mm ・ 建具表による ・
・ ふすま
張りの種別（ ・ Ⅰ型 ・ Ⅱ型 ）
上張り（押入等の裏側以外）
・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法
※ 19.5mm ・ 建具表による ・
・ 戸ぶすま
表面板の仕上 ・ 建具表による
見込み寸法
※ 30mm ・ 建具表による ・
・ 紙張り障子
見込み寸法
※ 30mm ・ 建具表による ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
枠、くつずりの材料
・ 建具表による ・
定規縁（引戸）の召合せかまち
・ いんろう付き ・

・ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 [5.8.2～3]
※ 改修標準仕様書表5．8．1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修標準仕様書表5．8．2による
・ 建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修標準仕様書表5．8．3による
・ 建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※ 改修標準仕様書表5．8．4による
・ 建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※ 改修標準仕様書表5．8．5による
・ 建具表による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・ 建具表による
・

・ 鍵

マスターキー [5.8.4]
・ 製作する
・ 製作しない
・ 既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数
※ 各至３本１組（室名札付き）
・
鍵箱
・ なし ・ あり

・ 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 [5.9.2]
・ 建具表による ・
・ 引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5．9．1による （ 防鎖 ・ 適用する ・ 適用しない ）
・ 以下による
種類・開閉方式 （ ）
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防鎖 （ ）
電源 （ ）
・ 車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5．9．2による （ 防鎖 ・ 適用する ・ 適用しない ）
・ 以下による
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防鎖 （ ）
電源 （ ）
・ 引き戸用検出装置
性能値
※ 改修標準仕様書表5．9．3による （ 防鎖 ・ 適用する ・ 適用しない ）
・ 以下による
放射無線周波数電磁界耐性（ ）
耐電圧 （ ）
防鎖 （ ）
防滴 （ ）
電源 （ ）
引き戸検出装置の種類は改修標準仕様書表5.9.4により、適用箇所は建具表による
タッチスイッチの種類
・ 無線式タッチスイッチ
・ 光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・ 大型押しボタンスイッチ
・ 非接触スイッチ
凍結防止措置
・ 行う ・ 行わない

・ 自閉式上吊り引戸装置

性能値等 [5.10.3]
※ 改修標準仕様書表5.10.1による
・ 以下による
手動開き力 （ ）
手動閉じ力 （ ）
閉じ速度の調整 （ ）
制動区間 （ ）
開閉繰返し （ ）
耐衝撃性 （ ）

・ 重量シャッター

シャッターの種類 [5.11.2]
・ 管理用シャッター
・ 外壁用防火シャッター
・ 屋内用防火シャッター
・ 防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 （ ）Pa
開閉方式の種類
※ 電動式（手動併用）
・ 手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
設置箇所 （ ・ 図示 ・ ）
電動式シャッターの障害物感知装置
設置箇所 （ ・ 図示 ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（ ※ 危害防止装置・既設シャッターに改修により取り付ける可動座板式 ）
設置箇所 （ ・ 図示 ・ ）
管理用シャッターのシャッターケース
・ 設ける ・ 設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量
※ Z12又はF12
・

・ 軽量シャッター

開閉方式の種類 [5.12.2～4]
※ 手動式
・ 上部電動式（手動併用）
耐風圧強度 （ ）Pa
安全装置
・ 電動シャッターの急降下停止装置
設置箇所 （ ・ 建具表による ・ ）
※ 電動シャッターの障害物感知装置
設置箇所 （ ・ 図示 ・ ）
スラットの材質
・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量（ ※ Z06又はF06 ・ ）
・ JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板）
めっきの付着量（ ※ AZ90 ・ ）
スラットの形状
・ インターロッキング形
・ オーバーラッピング形

工事名称	
加茂公園野球場便所改修工事	
図面名称	尺度
建築改修工事特記仕様書 No-4	図示
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50% / 図面No 4/14

Ver.2601

章	項目	特記事項

・ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナの種類 [6.7.3～4]
※ 改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・ 図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※ 図示による ・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※ 改修標準仕様書6.7.4（5）による
・

・ ビニル床シート

材料 [6.8.2～3]

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※ FS ・	・ 無地 ・ マーブル柄 ・ 柄物	※ 2.0 ・	

接合部の処理
※ 熱溶接工法 ・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

・ ビニル床タイル

[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※ KT(ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝ床ﾋﾞﾆﾙﾀｲﾙ) ・ TT(単層ビニル床タイル) ・ FT(複層ビニル床タイル) ・ FOA(置敷きビニル床タイル) ・ FOB(薄型置敷きビニル床タイル)	・ 無地 ・	・ 300×300 ・ 450×450 ・ 500×500 ・	※ 2.0 ・	

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

・ 特殊機能床材

[6.8.2]

シート・タイルの種別	種類	性能	厚さ、寸法、形状(mm)
・ 帯電防止床シート			厚さ：
・ 帯電防止床タイル			寸法： 厚さ：
・ 視覚障害者用の床タイル		—	形状：
・ 耐動荷重性床シート			厚さ：
⊙ 防滑性床シート	FS		厚さ： 2.5
・ 防滑性床タイル			寸法： 厚さ：

・ ビニル幅木

材質の種類 [6.8.2]
・ 軟質 ・ 硬質 ・ 床ｼｰﾄ巻上
高さ(mm)
※ 60 ・ 75 ・ 100
厚さ(mm)
※ 1.5以上 ・ 2.5

・ ゴム床タイル

種類 [6.8.2]
・ 単層品 ・ 積層品
色柄 （ ）
厚さ （ mm）
寸法(mm)（ ）
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

・ 接着剤

接着剤の主成分による区分と施工箇所 [6.8.2]
ビニル床シート及びビニル床タイル
※ 改修標準仕様書表6.8.1による ・
施工箇所の下地が、セメント系下地及び木質系下地以外の場合
施工箇所（ ）
主成分による区分（ ）
ゴム床タイル
※ 改修標準仕様書表6.8.2による ・
施工箇所の下地が、セメント系下地及び木質系下地以外の場合
施工箇所（ ）
主成分による区分（ ）

・ カーペット敷き

・ 織じゅうたん [6.9.2～3]

織り方	パイル形状	帯電性
・ ウィルトンカーペット ・ フェイストゥフェイスカーペット ・ アキスミンスターカーペット	・ カットパイル ・ ループパイル ・ カット/ループパイル	・ 適用する ・ 適用しない

色柄
※ 模様のない無地
無地の織りじゅうたんの種別（パイル糸の種類等）
・ A種 ・ B種 ・ C種
織じゅうたんの接合方法
※ ヒートボンド工法
・ つづり縫い

・ タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・ カットパイル	・ 5～7 ・	・ 全面接着工法 ・ グリッパー工法	・ 適用する ・ 適用しない	
・ ループパイル	・ 4～6 ・			
・ カット、ループ併用	・			

タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

章	項目	特記事項

・ タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考
※ ループパイル	※ 第一種		※ 500×500	※ 6.5	
	・ 第二種		・	・	
・ カットパイル	※ 第一種		※ 500×500	※ 6.5	
	・ 第二種		・	・	
・ カット・ループ併用	※ 第一種		※ 500×500	※ 6.5	
	・ 第二種		・	・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
タイルカーペットの敷き方
平場
※ 市松敷き
・ 模様流し
・
階段部分
※ 模様流し
・ 市松敷き
・
下敷き材
※ 反毛フェルト（JIS L 3204）の第212号 呼び厚さ 8mm
・
見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等
※ 図示による ・

・ 合成樹脂塗床

塗床材のホルムアルデヒド放散量 [6.10.2～3]
※ F☆☆☆☆ ・

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・ 厚膜型薄塗材 弾性ウレタン樹脂系塗床材			※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
・ 厚膜型薄塗材 エポキシ樹脂系塗床材		・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ
・ 薄膜型塗床材			※ 平滑仕上げ

・ フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 [6.11.2～6]
※改修標準仕様書6.11.2（2）による
・

単層フローリング

種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ
・ フローリングボード1等	・ 釘留め工法（根太張り）	・	※ 改修標準仕様書表6.11.1による ・
	・ 釘留め工法（直張り）	・	※ 改修標準仕様書表6.11.3による ・
	・ 接着工法	・	※ 改修標準仕様書表6.11.5による ・
・ フローリングブロック1等	・ 接着工法	・	厚さ（ ）、幅（ ） 長さ（ ）

複合フローリング

種類	工法	樹種	厚さ、幅、長さ
・ 複合フローリング（天然木化粧）	・釘留め工法（根太張り）	・	※ 改修標準仕様書表6. 11. 2による ・ A種 ・ B種 ・ C種
	・釘留め工法（直張り）	・	※ 改修標準仕様書表6. 11. 4による ・ A種 ・ B種 ・ C種
	・接着工法	・	※ 改修標準仕様書表6. 11. 6による ・ A種 ・ B種 ・ C種

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
接着工法の場合の不陸緩和材
※ 合成樹脂発泡シート ・
現場塗装仕上げ
※ 改修標準仕様書表6.11.6による
・

・ 畳敷き

種別 [6.12.2]
・ A種（畳表： ・ JS（特等麻糸） ・ J1（1等麻糸） ）
・ B種
・ C種（畳床： ・ PS-C20 ・ PS-C25 ・ PS-C30 ）
・ D種（畳床： ・ KT-Ⅰ ・ KT-Ⅱ ・ KT-Ⅲ ・ KT-K ・ KT-N ）
・ 衝撃緩和型畳（畳表： ・ C1 ・ C2）

章	項目	特記事項

・ せっこうボード、その他のボード及び合板張り

せっこうボード、その他ボード [6.13.2～3]

規格名称	種類	厚さ(mm)等
木質系セメント板	・ 木毛セメント板 ・ 硬質（HW）・ 中質（MW）・ 普通（NW）	※ 図示による ・ 15 ・ 20 ・ 25
	・ 木片セメント板 ・ 硬質（HF）・ 普通（NF）	※ 図示による ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・ 30 ・
繊維強化セメント板	・ 化粧けい酸カルシウム板 （タイプ2）普通ボード 0.8FK	※ 図示による ・ 6 ・ 8
火山性ガラス質複層板(VSボード)	・ 火山性ガラス質複層板	※ 図示による ・
繊維板	・ ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)	※ 図示による ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12
	・ ハードボード ・ スタンダードボード（無処理） ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板（RN） ・ 研磨板（RS） ・ 内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） ・ テンパードボード（処理） ・ 素地ハードボード ・ 未研磨板（RN） ・ 研磨板（RS） ・ 外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7
	・ インシュレーションボード ・ A級インシュレーションボード（A-IB） ・ 天井仕上げ材 ・ 内装仕上げ材	※ 図示による ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18
パーティクルボード	・ 単板張りパーティクルボード ・ 無研磨板（VN） ・ 研磨板（VS）	※ 図示による ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18
	・ 化粧パーティクルボード ・ 単板オーバーレイ（DV） ・ プラスティックオーバーレイ（DO） ・ 塗装（DC）	※ 図示による ・ 10（難燃） ・ 12（難燃）
吸音材料	・ ロックウール化粧吸音板(DR) ・ フラットタイプ ・ 凹凸タイプ	 ・ 9（不燃） ・ 12(不燃) ・ 12（不燃） ・ 15（不燃）
	・ ロックウール吸音ボード(1号)	※ 図示による ・ 25
	・ グラスウール吸音ボード(32K)	・ 25(ガラスクロス包)
せっこうボード製品	・ せっこうボード（GB-R）	・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)
	⊙ ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうボード（GB-S）	⊙ 12.5（・ 不燃 ・ 準不燃）
	・ 強化せっこうボード（GB-F）	・ 12.5(不燃) ・ 15(不燃)
	⊙ 化粧せっこうボード（GB-D）	⊙ トラバーチン模様 9.5（準不燃）
	・ せっこうラスボード（GB-L）	・ 9.5
	・ 不燃積層せっこうボード（GB-NC） ・ 化粧なし（下地張り用） ・ 化粧あり（トラバーチン模様）	・ 9.5（不燃）

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
表面への化粧張り等の加工
※ 図示による ・

合板

種類	厚さ(mm)等	防虫処理
・ 普通合板 品名: 単板の樹種名： 板面の品質：	※ 5.5 ・ 図示による ・	・ 行う ・ 行わない
・ 天然木化粧合板 化粧板の単板の樹種名：	※ 図示による ・	・ 行う ・ 行わない
・ 特殊加工化粧合板 品名: 接着の程度: 単板の樹種名: 化粧加工の方法 ・ ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ ﾌﾟﾘﾝﾄ ・ 塗装	※ 図示による ・	・ 行う ・ 行わない

合板のホルムアルデヒド放散量
※ 改修標準仕様書6.13.2（3）（イ）の（a）～（d）のいずれか
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※ 図示による ・
合板類の張付け
・ A種 ・ B種
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※ 仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ ベベルエッジ ・ スクェアエッジ

・ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 [6.14.2～3]
※ F☆☆☆☆ ・
壁紙の種類

施工箇所	壁紙の種類 紙	織維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火性能	備考
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
	・	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・
モルタル及びプラスター面の素地ごしらえの種別
※ B種 ・ A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※ B種 ・ A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別
※ B種 ・ A種

章	項目	特記事項

⊙ モルタル塗り

モルタル [6.15.3～6]
⊙ 現場調合材料
・ 既調合材料
既製目地材
・ 設ける
施工箇所（ ） 形状（ ※ 図示による ・ ）
⊙ 設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・
床の目地
・ 設ける
目地割り
◎ 2㎡程度（最大目地間隔 ※ 3m程度）
・
目地の種類
※ 押し目地
・
⊙ 設けない

⊙ タイル張り

伸縮目地の位置 [6.16.2～4]
床タイル （ ※ 縦、横とも4m以内ごと ・ 図示による ・ ）
床タイル以外（ ・ 図示による ・ ）
見本焼き
・ 行う（施工箇所： ） ⊙ 行わない
試験張り
・ 行う（範囲、仕様等は図示による） ⊙ 行わない

⊙ セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
図示による	75角	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
既調合モルタル（品質・性能、試験方法は別表による）
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
既調合目地材（品質・性能、試験方法は別表による）
下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地調整の方法
・（ ）
壁タイル張りの工法
内装タイル
・ 密着張り ・ 改良圧着張
内装タイル以外のユニットタイル
・ マスク張り ・ モザイクタイル張り

・ 有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法(mm)	再生材料の適用	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆ ・

・ セルフレベリング材塗り

塗厚（mm） [6.17.2、3]
・

⑦ 塗装改修工事

⊙ 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 [7.1.3]
※ F☆☆☆☆ ・
防火材料
※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・ 次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

⊙ 下地調整

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1]
⊙ 図示による
・

[7.2.3～7.2.7]

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※ RB種 ・	—
鉄鋼面	※ RB種 ・	—
亜鉛めっき鋼面	※ RB種 ・	—
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※ RB種 ・	—
モルタル、プラスター面	※ RB種 ・	・ 行う ・ 行わない
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	※ RB種 ・	・ 行う ・ 行わない
押出成形セメント板面、コンクリート面（DP）	・ RA種 ・ RB種 ・ RC種	・ 行う ・ 行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※ RB種 ・	—

工事名称	
加茂公園野球場便所改修工事	
図面名称 建築改修工事特記仕様書 No-5	尺度 図示
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50% / 図面No 5/14

章	項目	特記事項

○ 素地ごしらえ [7.3.2～7.3.7]

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ・ B種
	透明塗料塗りの場合	※ B種 ・ A種
鉄鋼面（DP以外）		※ C種 ・ A種 ・ B種
鉄鋼面（DP）		※ B種 ・ A種 ・ C種
亜鉛めっき鋼面		・ A種 ・ B種
モルタル面及びプラスター面		※ B種 ・ A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※ B種 ・ A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		※ B種 ・ A種
せっこうボード面及びその他ボード面		※ B種 ・ A種

○ 鋼止め塗料塗り 鋼止の塗料塗りの種別 [7.4.2～7.4.3]

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP（工程の種別は表7.4.3） 鋼止の塗装のまま	塗替え	As種	※ C種 ・
		新規見え掛り	As種	※ A種 ・
		新規見え隠れ	As種	※ B種 ・
	EP-G（工程の種別は表7.4.3）	塗替え	※ Bs種 ・ As種	※ C種 ・
		新規見え掛り	※ Bs種 ・ As種	※ A種 ・
		新規見え隠れ	※ Bs種 ・ As種	※ B種 ・
	DP（工程の種別は表7.4.4）	塗替え	7.4.2(1)(イ)(b)による。	・ B種(下地調整RB種) ・ C種(下地調整RC種)
		新規	7.4.2(1)(イ)(a)による。	・ A種
亜鉛めっき鋼面	SOP（工程の種別は表7.4.5）	塗替え 鋼製建具等	※ Az種 ・ Bz種	※ C種 ・
		塗替え その他	※ Bz種 ・	※ B種 ・
		新規 鋼製建具等	※ Az種 ・ Bz種	※ A種 ・
		新規 その他	※ Bz種 ・	※ B種 ・
	EP-G（工程の種別は表7.4.5）	塗替え	Cz種 ・	※ C種 ・
		新規 鋼製建具等	Cz種 ・	※ A種 ・
		新規 その他	Cz種 ・	※ B種 ・
	DP（工程の種別は表7.4.6）	塗替え	Bz種 ・	—
		新規	Bz種 ・	—

○ 塗装 [7.5.2～7.13.2]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
・ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗装の種類 ※ 1種 ・ 2種	木部屋外	※ B種 ・	※ A種 ・
	木部屋内	※ B種 ・	※ B種 ・
	鉄鋼面	※ B種 ・	※ B種 ・ A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※ A種 ・	※ B種 ・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※ B種 ・	※ B種 ・
・ クリヤラッカー塗り(CL)		※ B種 ・ A種 （着色塗料の種類： ）	※ B種 ・ A種 （着色塗料の種類： ）
・ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種
・ 耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（ ）級	・	—
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級	・	—
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・ A-1種 ・ ・ B-1種 ・ ・ C-1種 ・
○ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	○ B種 ・ C種	・ A種 ・ B種
	屋内の木部	※ B種 ・	※ A種 ・
	屋内の鉄鋼面	※ B種 ・	・ A種 ・ B種
	屋内の亜鉛めっき面	※ B種 ・	※ A種 ・ B種
・ 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※ B種 ・	・ A種 ・ B種
・ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※ B種 ・	※ B種 ・ A種
・ ピグメントステイン塗り			
・ 木材保護塗料塗り(WP)		※ B種 ・ A種	※ B種 ・ A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面）の塗替えの場合のしみ止め
※ 改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※ 改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする
・
クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・ 適用しない
・ 適用する(着色剤： ・ 溶剤系着色剤 ・ 油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の適用
・ 適用する
・ 適用しない

8-1 鉄筋工事（鉄筋工事）

・ 鉄筋 鉄筋の種類等 [8.2.1]

種類の記号	呼び径(mm)	備考
・ SD295		
・ SD345		
・		
・		

・ 溶接金網 鉄線の形状等 [8.2.2]

種類	種類の記号	鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径(mm)	使用部位
・ 溶接金網			
・			

・ 加工 ・鉄筋の折曲げ角度が90°未満の内法直径(D)（ ）以上 [8.3.2]

・ 鉄筋の継手及び定着 鉄筋の継手の方法等 [8.3.4]

部位	継手方法	呼び径(mm)
柱、梁の主筋	・ ガス圧接 ・ 機械式継手 ・ 溶接継手 ・ 重ね継手	
耐力壁の鉄筋	・ 重ね継手 ・	
その他の鉄筋（ ）	・ 重ね継手 ・	

継手位置
・ 図示による（ ）
柱及び梁の主筋の重ね継手の長さ
※ 改修標準仕様書 表8.3.2による
・ 図示による（ ） ・
耐力壁の重ね継手の長さ
※ 改修標準仕様書8.3.4(3)(ア)による
・ 図示による（ ） ・
・ 先組工法等で、柱及び梁の主筋のうち隣り合う継手を同一箇所に設ける場合
・ 図示による
鉄筋の定着の長さ
※ 改修標準仕様書 表8.3.4による
・ 図示による） ・
折り曲げ定着の方法
※ 改修標準仕様書8.3.4(5)(イ)の図8.3.3による
・
機械式定着工法
・ 適用する
適用箇所
・ 図示による（ ） ・
種類
・ 摩擦圧接接合 ・ 螺合グラウト固定
・ 鉄合グラウト固定 ・
帯筋組立の形、継手及び定着
・ 図示による ・

・ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む） 最小かぶり厚さ [8.3.5]
※ 改修標準仕様書8.3.5(1)による
・ 図示による（ ） ・
軽量コンクリートを適用する場合
・ あり 適用箇所（ ）
・ 改修標準仕様書 表8.3.6の最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm
・
耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・ あり 適用箇所（ ）
・ 最小かぶり厚さに加える厚さ（ ）mm
・

・ 壁の配筋及び補強 壁の配筋及び壁開口部の補強 [8.3.6]
・ 図示による ・

・ 圧接完了後の圧接部の試験 超音波探傷試験 [8.3.8]
※ 行う（全圧接部） ・

・ 機械式継手 適用箇所 [8.4.2]
・ 図示による(　　)
H12建告第1463号に適合する性能
・ A級 ・
種類
・
鉄筋相互のあき
・ 図示による ・
施工完了後の継手部の試験
・ 外観試験
試験対象
※ 全数 ・
試験項目及び合否判定
※ 改修標準仕様書 表8.4.1～表8.4.3による
・ 評定等の評価内容による ・
不合格となった場合の措置
※ 改修標準仕様書8.4.2(5)(ア) (a)～(c)による
・ 図示による（ ） ・
・ 超音波測定試験
試験対象
・ 抽取り
ロットの大きさ（ ）
試験箇所数：（ ）箇所/ロット
・ 全数
不合格となった場合の措置
・ 図示による(　　) ・

・ 溶接継手 適用箇所 [8.4.3]
・ 図示による(　　) ・
H12建告第1463号に適合する性能
・ A級 ・
溶接継手の性能、工法
・ 図示による(　　) ・
鉄筋相互のあき
・ 図示による(　　) ・
施工完了後の継手部の試験
・ 外観試験
試験対象
※ 全数 ・
試験項目
・ ・
試験方法
・ ・
不合格となった場合の措置
・
・ 超音波探傷試験
試験対象
・
不合格となった場合の措置
・ 図示による(　　) ・

8-2 型枠改修工事（コンクリート工事）

・ コンクリートの種類 コンクリートの種類 [8.1.3]
※ I 類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・ II 類（I 類以外でJIS A 5308に適合したコンクリート）
建築基準法第37条第二号の規定に基づき国土交通大臣の認定を受けたコンクリート
適用箇所（ ）

・ コンクリートの品質、調合 ・ 普通コンクリート [8.1.4][8.2.5][8.2.2]

設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m³)	適用箇所
・ 24	・	・	
・	・	・	
・	・	・	

構造体強度補正値 ※ 改修標準仕様書表8.2.4による ・

・ 軽量コンクリート

設計基準強度(N/mm²)	スランプ(cm)	気乾単位容積質量(t/m³)	種類	適用箇所
・	※ 21	・	・ 1種 ・ 2種	
・				

・ セメント 種類 [8.2.5]
※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
適用箇所（ ）
・ 高炉セメントB種
適用箇所（ ）
・ フライアッシュセメントB種
適用箇所（ ）

・ 骨材 フェロニッケルスラグ骨材、銅スラグ骨材及び電気炉酸化骨材 [8.2.5]
・ 使用する
普通エコセメントを使用するコンクリートの骨材
・ 再生骨材Hを使用する
アルカリシリカ反応性による区分
※ A ・ B

・ 混和材料 ・ 混和剤 [8.2.5]
混和剤の種類
※ 改修標準仕様書8.2.5(4)(ア)による ・
・ 混和材
混和材の種類
※ 改修標準仕様書8.2.5(4)(イ)による ・
改修標準仕様書8.2.5(5)(イ)(f)(g)①～③以外の混和材料
・ 混和剤（ ） ・ 混和材（ ）
使用方法 ・
使用量 ・

・ 構造体用モルタル 構造体用モルタル [8.2.6]
圧縮強度（ ）
フロー値（ ）

・ 暑中コンクリート スランプ [8.10.2]
※ 21m ・
構造体強度補正値
※ 改修標準仕様書 表8.10.1による ・

・ 無筋コンクリート コンクリートの種類 [8.11.1]
※ 普通コンクリート ・
設計基準強度
※ 18N/m² ・
スランプ
※ 15cm又は18cm ・
適用箇所
・ 図示による(　　) ・
改修標準仕様書 表8.1.1以外のコンクリートを用いる場合
（ ）

・ 構造体コンクリートの仕上り 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ [8.1.4]

種別	適用箇所
・ A種	
・ B種	
・ C種	

コンクリートの仕上がりの平たんさ

種別	適用箇所
・ a種	
・ b種	
・ c種	

・ 型枠の材料 せき板の材料及び厚さ [8.2.7]
・ 合板（ ※ 12mm ・ ）
・
スリーブの材種・規格等
・ 図示による（ ） ・

・ 打増し厚さ（打放し仕上げ部） 打増し厚さ [8.7.8]
・ 打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・ 20mm ・
打増し範囲
・ 図示による ・

・ 型枠の加工及び組立 シアコネクタをセパレーターとして使用 [8.7.8]
使用箇所
・ 図示による（ ） ・

・ 型枠の存置期間及び取外し 普通エコセメントの場合の最小存置期間 [8.7.8]
・

○ あと施工アンカー工事

○ あと施工アンカー 材料等 [8.2.4]
・ 金属系アンカー
・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による（ ）
・ せん断耐力 ・ kN ・ 図示による（ ）
アンカー本体の径及び埋込み長さ
・ 図示による（ ） ・
セット方式 ※ 本体打込み式改良型 ・
接合筋の種類、径、長さ
・ 図示による（ ） ・
・ 性能確認試験
試験方法及び試験数
・ 図示による（ ） ・
○ 接着系アンカー
・ 引張耐力 ・ kN ・ 図示による（ ）
・ せん断耐力 ・ kN ・ 図示による（ ）
アンカーの種類 ※カプセル方式回転打撃式
接着剤の品質
○ 有機系 ・ 無機系
アンカー筋の径及び埋込み長さ
・ 図示による（ ） ○ 150mm以上
アンカー筋の種類
○
アンカー筋の新設壁内への定着の長さ
・ 図示による（ ） ○ 400mm以上
○ 性能確認試験
試験方法及び試験数
・ 図示による（ ） ・

○ 穿孔 埋込み配管等の探査方法 [8.12.4]
○ 鉄筋探知器（金属探知器）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う
・ はつり出しによる
・

○ 施工確認試験 試験方法 [8.12.7]
※ 引張試験機による引張試験
確認強度
・ 図示による（ ） ・
試験箇所数（ ）

8-4 鉄骨改修工事（鉄骨工事）

・ 鉄骨製作工場 鉄骨製作工場の加工能力 [8.1.5]
※ 建築基準法 第68条の25 に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
（ ）グレード以上
・ 監督職員の承諾する工場

・ 鉄骨製作工場における施工管理技術者 ※ 配置する [8.1.6]

・ 鋼材 種類等 [8.2.8]

種類の記号	適用箇所（主要な部分）	規格
		・JISによる
		・JISによる
		・JISによる
		・JISによる
		・JISによる
		・JISによる

形状及び寸法
・ 図示による ・

・ 材料試験等 板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 [8.2.14]
・ 行う（適用箇所 ） ・ 行わない

・ 高力ボルト 高力ボルトの種類 [8.2.9][8.13.2][8.14.2][8.14.7]
・ トルシア形高力ボルト
・ JIS形高力ボルト
・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト
・
ボルトの寸法
ねじの呼び ・ 図示による
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・ 図示による（ ） ・
摩擦面の性能及び処理
・ すべり試験の実施（試験方法 ・ すべり係数試験 ・ すべり耐力試験）
JIS形高力ボルトの締付け（本締め）
ナット回転法の場合で、ボルトの長さがねじの呼びの5倍を超える場合の回転量
・ 図示による ・

・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8.13.2][8.20.5]
・ 図示による（ ） ・
摩擦面の処理方法
・ ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・ りん酸塩処理
・

・ 溶接材料 溶接材料 [8.2.10]
・ 改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による
・

工事名称	加茂公園野球場便所改修工事
図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-6
尺度	図示
縮尺率	A1=100% A2=71% A3=50%
図面No	6/14
福山市建設局建築部営繕課	

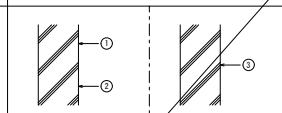
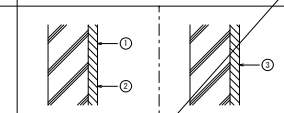
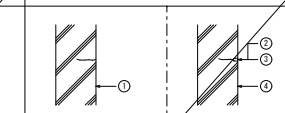
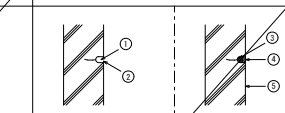
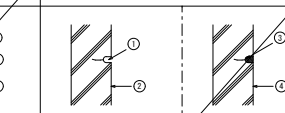
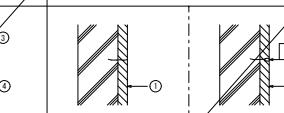
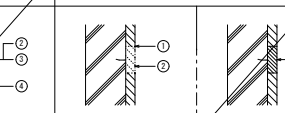
章	項目	特記事項
8-12	・ 既存杭の撤去等	撤去範囲及び撤去方法 [8.28.2] ・ 図示による（　　）　・ 既存杭の杭頭部等の処理 ・ 図示による（　　）　・ 既存杭の補強 ・ 図示による（　　）　・ 既存杭の健全性を確認する試験 ・ 図示による（　　）　・
第28章 改修工事（土工事及び地業工事）	・ 埋戻し及び盛土	材料及び工法 [8.28.3] ・ 材料（　　） ・ 工法（　　） ※ 改修標準仕様書8.28.1による ・ A種　適用場所（　　） ・ B種　適用場所（　　） ・ C種　適用場所（　　）　土質（　　）　受渡場所（　　） ・ D種　適用場所（　　） 建設発生土の処理 ※ 構外搬出適切処理 ・ 構内指定場所に堆積 ・ 構内指定場所に敷き均し
	・ 試験及び報告書	試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法 [8.28.4] ・ 図示による（　　）　・ ・ 杭の載荷試験 方法 ・ 図示による　・ 試験杭の位置、本数及び載荷荷重 ・ 図示による　・ 報告書の記載事項 ・（　　） ・ 地盤の載荷試験 方法 ・ 図示による　・ 試験及び載荷荷重 ・ 図示による　・ 報告書の記載事項 ・（　　）
	・ 杭地業	杭の材料 [8.2.15] ・ 図示による　・ 杭の継手の箇所数、材料、工法等 ・ 図示による　・ 杭の工法、種類、寸法、施工方法等 ・ 図示による（　　）　・ 支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む） [8.28.4] ・ 図示による（　　）　・ 杭の溶接継手 技能資格者の技量 ・ 図示による（　　）　・ 溶接部の確認 ・ 図示による（　　）　・ 杭頭の処理 ・ 処理しない ・ 処理する 処理方法（切断にともなう補強方法含む） ・ 図示による（　　） 支持層への根入れ長さ ・（　　） 水平方向の位置ずれ ・ 杭径の1/4かつ100mm以下 ・ 評定等の評価内容による ・ 記録する施工状況等 ・ 図示による（　　）　・
	・ 砂利地業	材料 [8.2.15][8.28.4] ・ 再生クラッシャラン　・ 切込砂利　・ 切込砕石 砂利厚さ ※ 60mm　・ 範囲 ・ 図示による（　　）　・
	・ 砂地業	材料(シルト、有機物等の混入しない締固めに適した砂) ・ 山砂　・ 川砂　・ 砕石 砂厚さ ※ 60mm　・ 範囲 ・ 図示による（　　）　・
	・ 捨コンクリート地業	捨コンクリートの厚さ [8.2.15][8.11.1][8.28.4] ※ 50mm　・ コンクリートの類別 ・ Ⅰ類　・ Ⅱ類　・（　　） コンクリートの種類 ・ ※ 普通コンクリート 設計基準強度 ※ 18N/mm2　・ スランプ ※ 15cm又は18cm　・

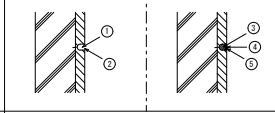
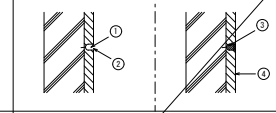
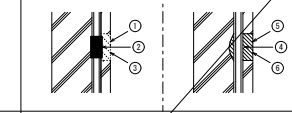
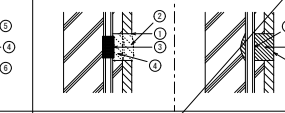
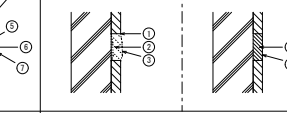
章	項目	特記事項
⑮	石綿含有建材の除去工事	・ 石綿含有建材除去後の仕上げ工事 [9.1.1] ・ 図示による　・ ・ 石綿粉じん濃度測定 [9.1.1] 測定時期、場所及び測定点 測定名称 / 測定時期 / 測定場所 / 測定箇所数 石綿含有建材の処理 [9.1.3] ・ 石綿含有吹付け材の除去（石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む） 除去対象範囲 ・ 図示による　・ 除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3（2）(ア)による ・ 除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化　・ 固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理（溶融施設2無害化処理施設　）
		・ 石綿含有保温材等の除去 [9.1.4] 除去対象範囲 ・ 図示による　・ 除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし　・ 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※ 湿潤化　・ 固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
		・石綿含有成形板等の除去 [9.1.5] 除去対象範囲 ・ 図示による　・ 隔離養生（負圧不要）方法 ・ 図示による ・ 足場 ・ 図示による ・ 除去した石綿含有成形板等の処分 [9.1.5] ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
		⊖ 石綿含有仕上塗材の除去 [9.1.6] 除去対象範囲 ・ 図示による　⊖ 外壁、軒裏 除去工法 ⊖ ①高圧水洗工法や剥離剤を用いる工法等により、湿潤化した状態で行う。 ②電気グラインダー等の電動工具により除去を行う場合は、除去する石綿含有仕上塗材を常時湿潤化した状態で行う。なお、湿潤化が著しく困難な場合は、除じん性能を有する電動工具を使用する電動工具を使用するなど粉じんの発散を防止する。 ③除去した石綿含有仕上塗材の廃棄物は、耐水性のプラスチック袋等により二重で梱包する。 養生方法 ⊖ 改修標準仕様書9.1.6(2)による 除去した石綿含有仕上塗材の処分 ⊖ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理（溶融施設又は無害化処理施設） ・ 汚泥としての処理
	・ 外断熱改修工事	断熱材 [9.2.2] 断熱材の種類 ・ 断熱材の厚さ(mm) ・ 外装材 種類 / 防火性能 / 備考 ・ 既存外壁の処置 [9.2.3] 既存外壁仕上材の撤去 ・ あり　・ なし 下地面の清掃 ・ 行う　・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 工法 [9.2.4] 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 ・ 図示による 不陸等の下地調整 ・ 断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ 通気層の有無 ・ あり（　　mm）　・ なし 外装材の外壁への取付け ・ 図示による　・

章	項目	特記事項
	・ 断熱・防露改修工事	・ 断熱材打込み工法 [9.3.2] 断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類　・ 厚さ(mm)　・ フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆　・ 開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆　・ ・ 断熱材現場発泡工法 [9.3.3] 断熱材の種類 ・ A種1　・ A種1H　・ 吹付け厚さ(mm) ・ 25　・ 30　・ ・ 断熱材後張り工法 [9.3.4] 断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類　・ 厚さ(mm)　・ ・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル 材質　・ 厚さ　・　(mm) ・ フェノールフォーム断熱材のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆　・ 接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆　・ ・ 断熱材に直接ボードの張り付けを行う場合の張付け工法（　　） ・ 断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネルを使用する場合の工法（　　）
	・ 屋上緑化改修工事	材料 芝及び地被類の種類等 [9.4.2] ※ 図示による　・ 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による　・ 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法 [9.4.3] ・ 図示による かん水装置 ・ 設置する（種類　・　　） 既存保護層の撤去 ・ 行う　・ 行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 [9.4.4] ※ 引渡しの日から1年 ・
	・ 透水性アスファルト舗装改修工事	既存舗装の撤去及び再利用 [9.5.2] ※ 図示による　・ 路床 [9.5.3] 路床の材料 種別 / 材料 / 厚さ(mm) ・ 盛土 / ・ A種　・ B種　・ C種　・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 / ・ 図示による ・ 凍上抑制層 / ・ 再生クラッシャラン ・ クラッシャラン ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ / ・ 図示による ・ フィルター層 / ・ 砂 ・ / ・ 図示による ・ 凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験 ・ 行う　・ 行わない ・ 路床安定処理 安定処理の方法 ・ 置き換え工法 ・ 安定処理工法 路床安定処理用添加材料 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰（　・ 特号　・ 1号） ・ 消石灰（　・ 特号　・ 1号） 試験 路床土の支持力比（CBR）試験 ・ 行う　・ 行わない 路床締固めの度の試験 ・ 行う　・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う　・ 行わない 路盤 [9.5.4] 路盤の厚さ ・ 図示による　・ 路盤材料 ・ クラッシャラン ・ 粒度調整砕石 ・ 再生クラッシャラン ・ 再生粒度調整砕石 ・ クラッシャラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ 舗装の構成 [9.5.5] ・ 図示による　・ 舗装の平たん性 ※ 著しい不陸がないもの ・ 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 [9.5.9] ・ 行う　・ 行わない

章	項目	特記事項

工事名称	加茂公園野球場便所改修工事
図面名称	建築改修工事特記仕様書　No-7
尺度	図示
福山市建設局建築部営繕課	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%
図面No	7/14

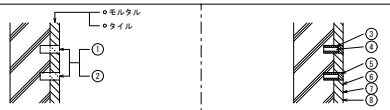
名称	A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理				
記号・仕様	A－1 打放し面表面劣化部処理［サンダー工法］	A－2 モルタル面表面劣化部処理［サンダー工法］	B－1 打放し面樹脂注入工法 ［4.2.5］ ひび割れ幅 0.2～1.0mm	B－2 打放し面Uカットシール材充てん工法 ［4.2.6］ ひび割れ幅 1.0mm超	B－3 打放し面Uカットシール材充てん工法 ［4.2.6］ ひび割れ幅 0.2～1.0mm	B－4 モルタル面樹脂注入工法 ［4.3.6］ ひび割れ幅 0.2～1.0mm	B－5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 ［4.3.6］ ひび割れ幅 0.2～1.0mm
改修前・改修後							
工程	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面 ★部分） ②水洗い（15Mpa程度） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン（・全面 ★部分） ②水洗い（15Mpa程度） ③セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A－1工法を行う場合は、①、④の工程はA－1工法に含む。	①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し （ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A－1工法を行う場合は、②、⑤の工程はA－1工法に含む。	①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③可とう性エポキシ樹脂充てん接ぢい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A－1工法を行う場合は、②、④の工程はA－1工法に含む。	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A－2工法を行う場合は、①、④の工程はA－2工法に含む。	①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A－2工法を行う場合は、⑥の工程はA－2工法に含む。
	設計数量： 0.0 ㎡	設計数量： 0.0 ㎡	設計数量：ひび割れ幅 0.2～0.5mm （ 0.0 ）m ひび割れ幅 0.5～1.0mm （ 0.0 ）m （ ）内は挙動ひび割れ数量を示す	設計数量： 0.0 m	設計数量： 0.0 m	設計数量：ひび割れ幅 0.2～0.5mm （ 0.0 ）m ひび割れ幅 0.5～1.0mm （ 0.0 ）m （ ）内は挙動ひび割れ数量を示す	設計数量： 0.0 m

名称	B ひび割れ部処理		C 鋼鉄筋部処理		D 浮き部処理		
記号・仕様	B－6 モルタル面Uカットシール材充てん工法 ひび割れ幅 1.0mm超	B－7 モルタル面Uカットエポキシ樹脂充てん工法 ひび割れ幅 0.2～1.0mm	C－1 打放し面鋼鉄筋部処理	C－2 モルタル面鋼鉄筋部処理	D－1 モルタル面はつり		
改修前・改修後							
工程	①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し （ポリマーセメントモルタル） ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A－2工法を行う場合は、②、⑤の工程はA－2工法に含む。	①ひび割れ部Uカット ②水洗い（15Mpa程度） ③可とう性エポキシ樹脂充てん接ぢい砂 ④セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A－2工法を行う場合は、②、④の工程はA－2工法に含む。	①鋼鉄筋周辺のはつり ②鋼落とし ③水洗い（15Mpa程度） ④防錆処理 ⑤はつり部埋戻し整形 ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A－2工法を行う場合は、③、⑥の工程はA－2工法に含む。	①カッター縁切り ②浮き部はつり ③鋼落とし ④水洗い（15Mpa程度） ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A－2工法を行う場合は、④、⑦の工程はA－2工法に含む。	①カッター縁切り ②浮き部はつり ③水洗い（15Mpa程度） ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm） ※A－2工法を行う場合は、③、⑤の工程はA－2工法に含む。		
	設計数量： 0.9 m	設計数量： 0.0 m	設計数量： 0.0 m	設計数量： 0.0 m	設計数量： 0.2 m		

名称 D 浮き部処理

記号・仕様：
D－2 モルタル面アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ［4.3.11］
D－2' タイル面アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ［4.4.9］

改修前・改修後：

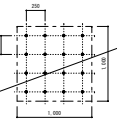


工程：

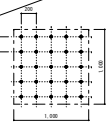
①穿孔	一般部	16	ケ所	⑤穿孔跡埋戻し［エポキシパテ］	一般部	16	ケ所
	指定部	25	ケ所		指定部	25	ケ所
②孔内エアー清掃	一般部	16	ケ所	⑥サンダーケレン			
	指定部	25	ケ所	⑦水洗い（15Mpa程度）			
③エポキシ樹脂注入	一般部	16	ケ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）			
	指定部	25	ケ所				
④ステンレスピン挿入	一般部	16	ケ所	※A－2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA－2工法に含む。			
	指定部	25	ケ所	※D－2'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。			

設計数量：①一般部分：【モルタル面】 0.0 ㎡

①一般部分標準グリッド（250×250）
（指定部以外の部分）



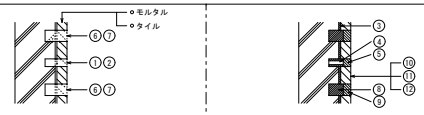
②指定部分標準グリッド（200×200）
（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）



③峡幅部
（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）

● アンカービン固定部

D－3 モルタル面アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ［4.3.12］
D－3' タイル面アンカービンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ［4.4.10］

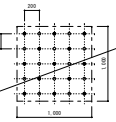


①ピン固定部穿孔	一般部	13	ケ所	⑥注入口穿孔	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
②孔内エアー清掃	一般部	13	ケ所	⑦孔内エアー清掃	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
③ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入	一般部	13	ケ所	⑧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
④ｽﾃﾝﾚｽﾋﾟﾝ挿入	一般部	13	ケ所	⑨穿孔跡埋戻し［ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ］	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
⑤穿孔跡埋戻し［ｴﾎﾟｷｼﾊﾟﾃ］	一般部	13	ケ所	⑩ｻﾝﾀﾞｰｹﾚﾝ			
	指定部	20	ケ所	⑪水洗い（15Mpa程度）			
				⑫ｾﾒﾝﾄ系下地調整材ｺﾃ塗り（1.5mm±0.5mm）			

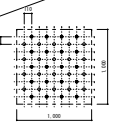
※D－3'工法を行う場合は、⑨、⑪、⑫の工程は含まない。
※A－2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA－2工法に含む。

設計数量：①一般部分： 0.0 ㎡
②指定部分： 0.0 ㎡
③峡幅部 ： 0.0 m

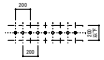
①一般部分標準グリッド（200×200）
（指定部以外の部分）



②指定部分標準グリッド（110×110）
（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）



③峡幅部
（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）

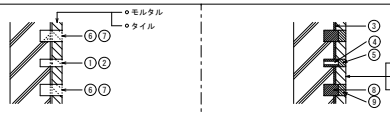


● アンカービン固定部
● 注入口

名称 D 浮き部処理

記号・仕様：
D－4 モルタル面アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ［4.3.13］
D－4' タイル面アンカービンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ［4.4.11］

改修前・改修後：



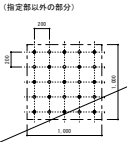
工程：

①ピン固定部穿孔	一般部	13	ケ所	⑥注入口穿孔	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
②孔内エアー清掃	一般部	13	ケ所	⑦孔内エアー清掃	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
③ｴﾎﾟｷｼﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入	一般部	13	ケ所	⑧ｴﾎﾟｷｼﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
④ｽﾃﾝﾚｽﾋﾟﾝ挿入	一般部	13	ケ所	⑨穿孔跡埋戻し［ｴﾎﾟｷｼﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ］	一般部	12	ケ所
	指定部	20	ケ所		指定部	20	ケ所
⑤穿孔跡埋戻し［ｴﾎﾟｷｼﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ］	一般部	13	ケ所	⑩ｻﾝﾀﾞｰｹﾚﾝ			
	指定部	20	ケ所	⑪水洗い（15Mpa程度）			
				⑫ｾﾒﾝﾄ系下地調整材ｺﾃ塗り（1.5mm±0.5mm）			

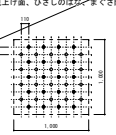
※D－4'工法を行う場合は、⑨、⑪、⑫の工程は含まない。
※A－2工法を行う場合は、⑨、⑪、⑫の工程はA－2工法に含む。

設計数量：①一般部分： 0.0 ㎡
②指定部分： 0.0 ㎡
③峡幅部 ： 0.0 m

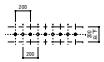
①一般部分標準グリッド（200×200）
（指定部以外の部分）



②指定部分標準グリッド（110×110）
（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）



③峡幅部
（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）



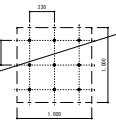
● アンカービン固定部
● 注入口

D－5 モルタル面注入口付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ［4.3.14］
D－5' タイル面注入口付アンカービンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ［4.4.12］

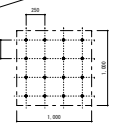
①穿孔	一般部	9	ケ所	⑤穿孔跡埋戻し［エポキシパテ］	一般部	9	ケ所
	指定部	16	ケ所		指定部	16	ケ所
②孔内エアー清掃	一般部	9	ケ所	⑥サンダーケレン			
	指定部	16	ケ所	⑦水洗い（15Mpa程度）			
③ステンレスピン（注入口付）挿入	一般部	9	ケ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り（1.5mm±0.5mm）			
	指定部	16	ケ所				
④エポキシ樹脂注入	一般部	9	ケ所	※A－2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA－2工法に含む。			
	指定部	16	ケ所	※D－5'工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程は含まない。			

設計数量：①一般部分： 0.0 ㎡
②指定部分： 0.0 ㎡
③峡幅部 ： 0.0 m

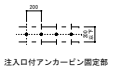
①一般部分標準グリッド（330×330）
（指定部以外の部分）



②指定部分標準グリッド（250×250）
（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）



③峡幅部
（幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）



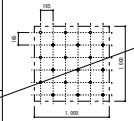
● 注入口付アンカービン固定部

工事名称	加茂公園野球場便所改修工事
図面名称	建築改修工事特記仕様書 No-8
尺度	S = No scale
縮尺率	A1=100% A2= 71% A3= 50%
図面No	8/14
福山市建設局建築部営繕課	

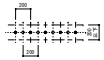
名称	D　浮き部処理
記号・仕様	D－6　モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法　[4.3.15] D－6'　タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法　[4.4.13]

改修前　改修後

①一般部分標準グリッド（１６５×１６５）
（指定部以外の部分）

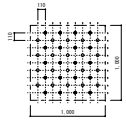


③峡幅部
（幅２００mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所）



● 注入口付アンカーピン固定部
● 注入口

②指定部分標準グリッド（１２５×１２５）
（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等）



工　程

①ピン固定部穿孔	一般部	9 ケ所	⑥注入口穿孔	一般部	9 ケ所
	指定部	16 ケ所		指定部	16 ケ所
②孔内エアー清掃	一般部	9 ケ所	⑦孔内エアー清掃	一般部	9 ケ所
	指定部	16 ケ所		指定部	16 ケ所
③ステンレスピン（注入口付）挿入	一般部	9 ケ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部	9 ケ所
	指定部	16 ケ所		指定部	16 ケ所
④エポキシ樹脂注入	一般部	9 ケ所	⑨穿孔跡埋戻し［エポキシパテ］	一般部	9 ケ所
	指定部	16 ケ所		指定部	16 ケ所
⑤穿孔跡埋戻し［エポキシパテ］	一般部	9 ケ所	⑩サンダーケレン		
	指定部	16 ケ所	⑪水洗い（15Mpa程度）		
			⑫セメント系下地調整材コテ塗り（１．５mm±０．５mm）		

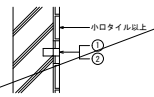
※D－6'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。　※A－2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA－2工法に含む

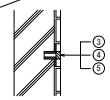
設計数量：①一般部分：　0.0 ㎡
②指定部分：　0.0 ㎡
③峡幅部　：　0.0 m

名称	D　浮き部処理
記号・仕様	D－7　モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法　[4.3.16] D－7'　タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法　[4.4.14] ※標準グリッド等は、D－6、D－6'と同じ

D－8　タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法（小口タイル以上）　[4.4.15]

改修前　改修後





工　程

①ピン固定部穿孔	一般部	9 ケ所	⑥注入口穿孔	一般部	9 ケ所
	指定部	16 ケ所		指定部	16 ケ所
②孔内エアー清掃	一般部	9 ケ所	⑦孔内エアー清掃	一般部	9 ケ所
	指定部	16 ケ所		指定部	16 ケ所
③ステンレスピン（注入口付）挿入	一般部	9 ケ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部	9 ケ所
	指定部	16 ケ所		指定部	16 ケ所
④ポリマーセメントスラリー注入	一般部	9 ケ所	⑨穿孔跡埋戻し［ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ］	一般部	9 ケ所
	指定部	16 ケ所		指定部	16 ケ所
⑤穿孔跡埋戻し［ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ］	一般部	9 ケ所	⑩サンダーケレン		
	指定部	16 ケ所	⑪水洗い（15Mpa程度）		
			⑫セメント系下地調整材コテ塗り（１．５mm±０．５mm）		

※D－7'工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程は含まない。　※A－2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA－2工法に含む

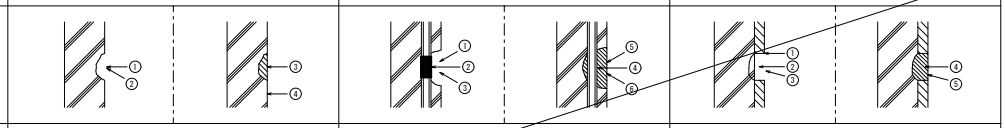
設計数量：①一般部分：　0.0 ㎡
②指定部分：　0.0 ㎡
③峡幅部　：　0.0 m

①穿孔
②孔内エアー清掃
③ステンレスピン（注入口付）挿入
④エポキシ樹脂注入
⑤穿孔跡埋戻し［化粧キャップもしくは調色樹脂パテ］

設計数量：　0.0 ㎡

名称	E　欠損部処理
記号・仕様	E－1　打放し面充填工法　[4.2.8] E－2　打放し面欠損部処理　[4.2.3] E－3　モルタル面欠損部処理　[4.3.3]

改修前　改修後

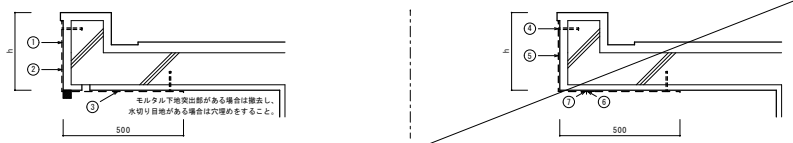


工　程

E－1	E－2	E－3
①欠損部はつり等での整形 ②水洗い（15Mpa程度） ③欠損はつり部埋戻し［ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ］ ④セメント系下地調整材コテ塗り（１．５mm±０．５mm） ※A－1工法を行う場合、②、④の工程はA－1工法に含む	①欠損部・鉄筋部周辺はつり等での整形 ②鎖落とし ③水洗い（15MPa程度） ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し［ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ］ ⑥セメント系下地調整材コテ塗り（１．５mm±０．５mm） ※A－1工法を行う場合、③、⑥の工程はA－1工法に含む	①カッター縁切り（C－3） ②欠損部はつり等での整形 ③水洗い（15Mpa程度） ④欠損はつり部埋戻し［ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ　・ｴﾎﾟｷｼ樹脂ﾓﾙﾀﾙ］ ⑤セメント系下地調整材コテ塗り（１．５mm±０．５mm） （鉄筋の露出部がある場合はE－2による） ※A－2工法を行う場合、③、⑤の工程はA－2工法に含む
設計数量：　0.0　㎡	設計数量：　0.0 ㎡	設計数量：　0.0 ㎡

名称	F　外壁複合改修工法
記号・仕様	F　外壁複合改修工法

改修前　改修後



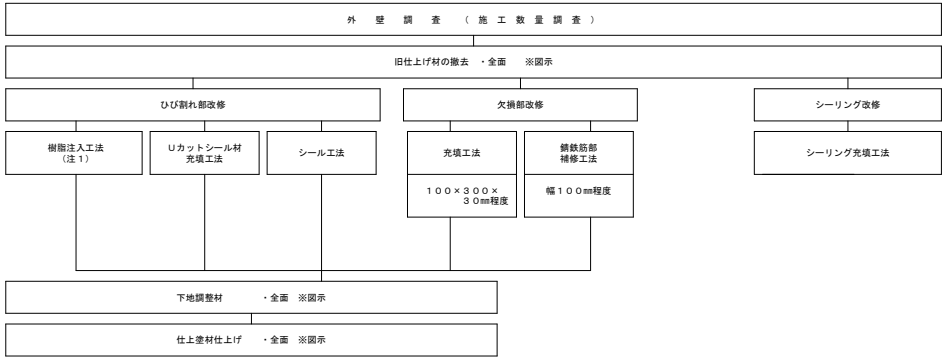
工　程

下地補修後
① プライマー下塗り
② ポリマーペースト中塗り
③ 三軸ネット張り
④ ワッシャー付アンカーピン打ち込み
⑤ ポリマーペースト中塗り
⑥ アルミ水切り取付け（L-30×15×2.0　ステンレスビス止※450）
⑦ シーリング打設（MS-2）

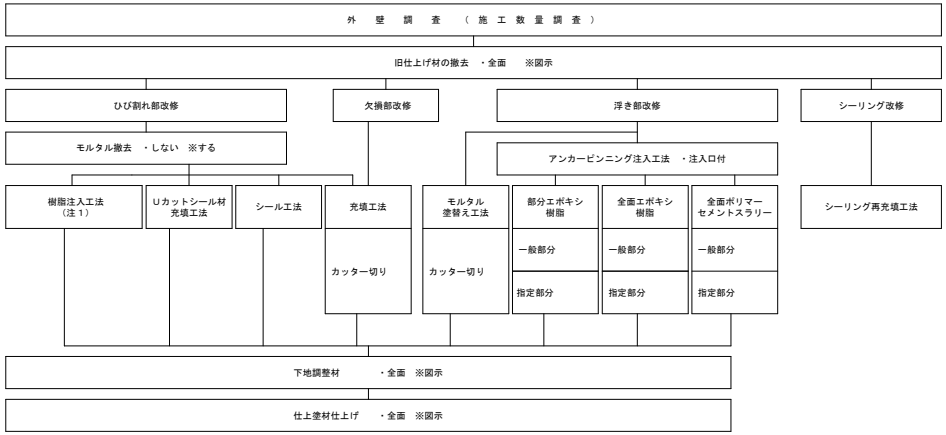
設計数量（管理値）		
	ネット張り	㎡
	水切	m

外壁改修フロー図

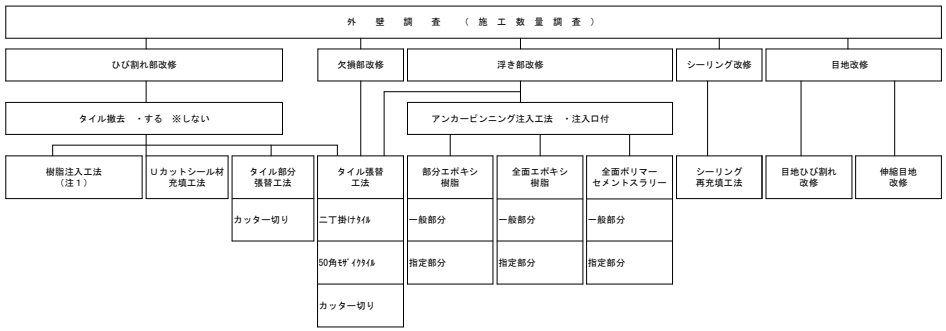
・コンクリート打放し仕上げ外壁の場合



・モルタル塗り仕上げ外壁の場合



・タイル張り仕上げ外壁の場合



（注１）樹脂注入工法の工法の種類を示す

工事名称	加茂公園野球場便所改修工事	
図面名称	建築改修工事特記仕様書　No-9	尺度　S = No scale
福山市建設局建築部営繕課		縮尺率　A1=100%　A2= 71%　A3= 50% 図面No　9/14

章	項目	特記事項
19 内装工事		

見切り、押え金物
・ 適用する（材質、形状等　・ 図示による　・　）
・ 適用しない
タイルカーペットの敷き方
平場　※ 市松敷き　・ 模様流し　・
階段部分　※ 模様流し　・ 市松敷き　・

・ 合成樹脂塗床

合成樹脂塗床材のホルムアルデヒド放散量　(19.４.２)
※ F☆☆☆☆　・

種類　(19.４.２)(19.４.３)(表19.４.１～表19.４.８)

種類	工法	仕上げの種類	施工箇所
・ 厚膜型塗床材（弾性ウレタン樹脂系塗床材）		※ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	
・ 厚膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床材）	・ 薄膜流しのべ工法 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 樹脂モルタル工法	・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ	
・ 薄膜型塗床材（エポキシ樹脂系塗床材）		※ 平滑仕上げ	
・			

・ フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒド放散量　(19.５.２)
※ 標準仕様書19.５.２（２）による　・

単層フローリング　(19.５.２～19.５.５)

種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ
・ フローリングボード１等	・ 釘留め工法（根太張り）	・	※ 標準仕様書　表19.５.１による ・
	・ 釘留め工法（直張り）	・	※ 標準仕様書　表19.５.３による ・
	・ 接着工法	・	※ 標準仕様書　表19.５.５による ・
・ フローリングブロック１等	・ 接着工法	・	・

複合フローリング　(19.５.２～19.５.５)

種類	工法	樹種	厚さ、幅及び長さ
・ 複合フローリング（天然木化粧）	・ 釘留め工法（根太張り）	・	※ 標準仕様書　表19.５.２による ・ A種　・ B種　・ C種
	・ 釘留め工法（直張り）	・	※ 標準仕様書　表19.５.４による ・ A種　・ B種　・ C種
	・ 接着工法	・	※ 標準仕様書　表19.５.６による ・ A種　・ B種　・ C種

接着工法の場合の不陸緩衝材　(19.５.５)
※ 合成樹脂発泡シート　・

・ 畳敷き

種別　(19.６.２)(表19.６.１)
・ A種　（ 畳表：　・ JS　・ J１　）
・ B種
・ C種　（ 畳床：　・ PS-C20　・ PS-C25　・ PS-C30　）
・ D種
（ 畳床：　・ KT-Ⅰ　・ KT-Ⅱ　・ KT-Ⅲ　・ KT-K　・ KT-N　）

・ 衝撃緩和型畳
畳表（JIS A5902）　・ C１　・ C２

・ せっこうボード、その他ボード及び合板張り

材料　(19.７.２)(表19.７.１)

規格名称	種類	厚さ（mm）等
木質系セメント板	・ 硬質木毛セメント板	・ 15　・ 20　・ 25　・
	・ 中質木毛セメント板	・ 15　・ 20　・ 25　・
	・ 普通木毛セメント板	・ 15　・ 20　・ 25　・
	・ 硬質木片セメント板	・ 12　・ 15　・ 20　・ 25　・
	・ 普通木片セメント板	・ 30　・
繊維強化セメント板	・ けい酸カルシウム板	タイプ２（無石綿）　・ 6　・ 8
火山性ガラス質複層板（VSボード）	・ 火山性ガラス質複層板	・ 図示による　・
繊維板	・ ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）	・ ３　・ ７　・ ９　・ 12　・
	・ ハードボード（素地）	・ 無研磨板 （ ・ スタンダード　・ テンパード） ・ 研磨板 （ ・ スタンダード　・ テンパード） ・ 2.5　・ 3.5　・ ５　・ ７
	・ ハードボード（化粧）	・ 内装用　・ 外装用 ・ 2.5　・ 3.5　・ ５　・ ７
	・ インシュレーションボード	A級 （ ・ 天井仕上　・ 内装仕上　・ ・ 9　・ 12　・ 15　・ 18　・
パーティクルボード	・ 単板張りパーティクルボード	・ 無研磨板　・ 研磨板 ・ 10　・ 12　・ 15　・ 18　・
	・ 化粧パーティクルボード	・ 単板オーバーレイ ・ プラスチックオーバーレイ ・ 塗装 ・ 10　・ 12
吸音材料	・ ロックウール化粧吸音板	・ フラットタイプ （ ・ ９（不燃）・ 12（不燃）・　） ・ 凹凸タイプ （ ・ ９（不燃）・ 12（不燃）・　）
	・ ロックウール吸音ボード１号	・ 25　・
	・ グラスウール吸音ボード32K	・ 25（ガラスクロス包）　・
せっこうボード製品	・ せっこうボード	・ 12.5（不燃）　・ 15（不燃）　・
	・ 不燃積層せっこうボード	・ 化粧無（下地張り用） ・ 化粧有（トラバーチン模様） ・ 9.5（不燃）　・
	・ シージングせっこうボード	・ 12.5（不燃）　・
	・ 強化せっこうボード	・ 12.5（不燃）　・ 15（不燃）
	・ せっこうラスボード	・ 9.5　・
	・ 化粧せっこうボード（木目）	模様（ ・ 柾目　・ 板目 ） 専用下地材張り ・ 12.5（不燃）幅440mm程度
	・ 化粧せっこうボード（トラバーチン模様）	・ 9.5（準不燃）

パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
ボード表面への化粧張仕上げの有無
・ 有り（種類：　）　・

天井のボードの重ね張りの張り付け方法　(19.７.３)
（ロックウール吸音板を除く）
（　）
せっこうボードの目地工法　(19.７.３)
種類
・ 継目処理工法　・ 突付け工法　・ 目透し工法
せっこうボードのエッジの種類（突付け工法、目透し工法の場合）
・ ベベルエッジ　・ スクェアエッジ

材料　(19.７.２)

種類	規格	防虫処理
・ 普通合板	品名　（　） 厚さ　（ ※ 5.5mm　・　） 板面の品質　（　） 広葉樹　（ ※ ２等以上　・　） 針葉樹　（ ※ C-D以上　・　） 単板の樹種名　（　）	・ 行う ・ 行わない
・ 天然木化粧合板	厚さ　（　mm ） 化粧板の単板の樹種名　（　）	・ 行う ・ 行わない
・ 特殊加工化粧合板	品名　（　） 厚さ　（　mm ） 接着の程度　（　） 単板の樹種名　（　） 化粧加工の方法 ・ オーバーレイ　・ プリント ・ 塗装　・	・ 行う ・ 行わない

合板のホルムアルデヒド放散量
※ 標準仕様書19.７.２（２）（イ）のいずれかによる
・

合板の張付け　・ A種　・ B種　(19.７.３)(表19.７.３)

・ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量　(19.８.２)
壁紙　※ F☆☆☆☆　・
接着剤　※ F☆☆☆☆　・

種類　(19.８.２)

施工箇所	壁紙の種類 紙	繊維	プラスチック	無機質	塩化ビニル	その他	防火性能	備考
	・	・	・	・	・		・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 難燃	
	・	・	・	・	・			

施工　(19.８.３)
モルタル面及びせっこうプラスター面の素地ごしらえ　(表18.２.４)
※ B種　・ A種
コンクリート面の素地ごしらえ　(表18.２.５)
※ B種　・ A種
せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえ　(表18.２.７)
※ B種　・ A種

・ 断熱材

・ 断熱材打込み工法　(19.９.３)

種類 断熱材名	種類（記号）	厚さ（mm）	施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材		・	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材（スキン層なし）		・	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材		・	
・ フェノールフォーム断熱材		・	

フェノールフォームを使用した断熱材及び開口部等補修のための張付け用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆　・

・ 断熱材現場発泡工法　(19.９.４)
断熱材の種類　・ A種１　・ A種１H
吹付け厚さ　・　mm
施工箇所　・ 図示による　・

⑳ ユニット及びその他の工事

・ フリーアクセスフロア

材料等　(20.２.２)

施工箇所	構造	寸法（mm）	高さ（mm）	耐震性能	所定荷重	表面仕上げ材	備考
	・ 支柱調整式 ・ 置敷数	・ 500×500	・	・ 1.0G ・ 0.6G	・ 3,000N ・ 5,000N	・ 帯電防止床タイル ・ タイルカーペット ・	

帯電防止性能　・ U値（クラス１）　・ U値（クラス２）
漏えい抵抗　・ $R \geqq 1 \times 10^6 \Omega$　・
耐荷重性能、耐衝撃性能、ローリングロード性能、耐燃焼性能の試験方法
※ 標準仕様書20.２.２（２）（イ）による　・
寸法精度
※ 標準仕様書20.２.２（２）（オ）による　・

・ 可動間仕切

材料等　(20.２.３)

構造形式による種類	構成基材の種類 スタッド	パネル	パネル表面仕上げ	遮音性能（dB/500Hz）
・ スタッド式（内蔵） ・ スタッド式（露出） ・ スタッドパネル式 ・ パネル式			・ メラミン樹脂焼付又はアクリル樹脂焼付 ・ 壁紙張り	・ 0 ・ 12 ・ 20 ・ 28 ・ 36

パネルの材料のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆　・
パネル内に取付ける建具
・ 有り（寸法及び形状：　※ 図示による　・　）
・ 無し

・ 移動間仕切

材料及び性能等　(20.２.４)

操作方法による種類	圧接装置の操作方法	パネル表面材 材質	仕上げ	遮音性能（dB/500Hz）
・ 手動式 ・ 電動式 ・ 部分電動式	・ プッシュ式 ・ ハンドル式 ・	・ 鋼板 ・	・ 焼付塗装 ・ 壁紙張り ・	・ 36未満 ・ 36以上

ハンガーレールの取付け下地
※ 標準仕様書20.２.３（３）（ウ）による　・ 図示による
ハンガーレール
※ 標準仕様書20.２.４（３）（エ）による　・ 図示による
ランナー
※ 標準仕様書20.２.４（３）（オ）による　・ 図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ 標準仕様書20.２.４（３）（カ）による　・ 図示による
あと施工アンカー
・ 使用する
（ 種類：　材質：　寸法：　）
・ 使用しない

⊙ トイレブース

材料等　⊙ 図示による　(20.２.５)

パネル表面材の材質	脚部の種類	ドアエッジの材質
⊙ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 幅木タイプ ⊙ 支柱タイプ	※ 製造所の仕様による ・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材

パネル材料のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆　・ 図示による

⊙ 手すり

材料の種類　⊙ 図示による　(20.２.６)
仕上げ　・

・ 階段滑り止め

材料等　(20.２.７)

材種	形状	寸法（mm）	取付け工法
・ ステンレス製（ＳＵＳ304） ・ 黄銅製押出型材 ・ アルミニウム製押出型材	・ ひも状 ・ タイヤ型	・ ・	※ 接着工法 ・ 埋込み工法

・ 黒板及びホワイトボード

・ 黒板　(20.２.９)
区分　※ 焼付け　・
種類　・ 鋼板黒板　・ ほうろう黒板
・ ホワイトボード　(20.２.９)
（　）

・ 鏡

取付箇所（　）　(20.２.10)
寸法　・ 図示による　・
厚さ　※ 5mm　・

⊙ 表示

・ 衝突防止表示　(20.２.11)
形状、寸法（ ・ 30φ　・　）
材質　（ ・ ステンレス製　・　）
・ 非常用進入口等の表示等　(20.２.11)
※ 消防法に適合する市販品　・

室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式　(20.２.11)
⊙ 図示による　・

・ タラップ

材料の種類　※ ステンレス製　・　(20.２.12)
仕上げ　※ 研磨等の仕上げを行わない　・

・ 煙突ライニング

煙突用成形ライニング材　(20.２.13)
適用安全使用温度　・　℃
工法　（　）

・ ブラインド

材料等　(20.２.14)
・ 横形ブラインド
種類　※ ギア式　・ コード式　・ 操作棒式
幅、高さ　・ 図示による　・
スラットの幅　※ 25mm　・
材質
スラット　※ アルミニウム合金製　・
ヘッドボックス　※ 鋼製　・
ボトムレール　※ 鋼製　・
・ 縦形ブラインド
幅、高さ　・ 図示による　・
開閉方式　・ 片開き　・ 両開き
操作方法　※ ２本操作コード方式　・ １本操作コード方式
スラットの材質　・ 焼付け塗装仕上げのアルミスラット
・ 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工クロススラット
スラットの幅　・　mm

・ ロールスクリーン

材料等　(20.２.15)

材質	品質	操作方式	幅、高さ	取付箇所
・ ポリエステル ・	・	・ 電動式 ・ スプリング式 ・ チェーン式	・ 図示 ・	・ 図示 ・

巻取りパイプ、ウェイトバー、操作コード又は操作チェーンその他の材料
※ 製造所の仕様による　・

・ カーテン

材料等　(20.２.16)(表20.２.１)

形式		開閉操作方式	ひだの種類	生地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ つまひだ（三つ山ひだ、二つ山ひだ） ・ 箱ひだ、片ひだ ・ プレーンひだ	・ ・ ・	・ 図示 ・	
・	・	・	・	・	・	

暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※ 300mm以上　・

・ カーテンレール

材料等　(20.２.16)
レール及びブランケットの強さによる区分
※ 10－90　・
レールの材料による区分
※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・ ステンレス製
レールの仕上げ　※ アルマイト　・
レールの形状　※ 角形　・
カーテン付属物　フック（ひるかん）
※ 鋼製　・ 樹脂製

・ プレキャストコンクリート

補強鉄線の径及び網目寸法　(20.３.２)
・ 図示による　・

製作
コンクリートの設計基準強度（Fc）　(20.３.３)
※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m3を満足するように定める
・ 図示による
配筋
※ 監督職員の承諾による　・ 図示による
取付け方法　(20.３.４)
・ 図示による
・

・ 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

材料等　(20.４.２)

材料	材種	種類	質量区分	備考
・ 間知石	・ 花こう岩 ・ 凝灰岩	－		
・ コンクリート間知ブロック	－		・ A ・ B	

工法　(20.４.３)
積み方　※ 谷積み　・ 布積み
目塗り　・ 図示による　・
伸縮調整目地　材種　・ 図示による　・
厚さ　・ 図示による　・

・ ブラインドボックス及びカーテンボックス

溝幅×深さ（mm）
・ 90×150　※ 120×80　・ 120×150　・ 150×80
・ 図示による
材質　・ 集成材（仕上げ：　）
・ アルミニウム製　押し出し型材（市販品）
種別（標準仕様書表14.２.１）　・ BC－１種
・ BC－２種
色合い　・ 標準色（　）
・ 特注色（　）
・ 鋼製（仕上げ：　）

・ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
・ アルミニウム製 ・	・ 450×450 ・ 600×600 ・	・ 一般形 ・	・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ	・ 額縁タイプ ・ 目地タイプ

・ 床点検口

材種	寸法	形式		備考
・ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 鋼製	・ 450×450 ・ 600×600 ・	・ 一般形 ・ 密閉形 ・	・ 屋内外用 ・ 屋内用	・ 鍵付き

・ 耐震スリット

方向	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・ 垂直方向 ・ 水平方向	・ 完全（全貫通型） ・	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 有り ・ 無し	

目地

目地	内壁	外壁
・ 目地材	・ シーリング材（見え掛り部のみ）	・ シーリング材（見え掛り部のみ） ・ シーリング材（内外とも）
・ 目地寸法（mm）	・ 幅20×深さ10 ・	・ 幅20×深さ10 ・

目地材の材質は標準仕様書表９.７.２による

・ 止水板

形式　・ 差込式　・ 据置式　・ 壁張り式
施工箇所　・ 図示による　・

・ エキスパンジョイント金物

材種	クリアランス	耐火性能	備考
・ アルミニウム製 ・ ステンレス製	・ 50　・ 100 ・ 150　・	・ 有り（　） ・ 無し	

（注）外部は防水型とする

・ くつふきマット

材種	受け枠	備考
・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 硬質アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼（ＳＵＳ304）製 ・	・ ステンレス鋼（ＳＵＳ304） ・ 硬質アルミニウム合金 ・	

工事名称	加茂公園野球場便所改修工事		
図面名称	建築工事特記仕様書　No-1	尺度	図示
	福山市建設局建築部営繕課	縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%	図面No 10/14

20 ユニット及びその他の工事

項目：流し台ユニット

材種	寸法（mm） W	寸法（mm） D	寸法（mm） H	備考
・流し台	・1,200 ・1,500 ・1,800	・550 ・600 ・650	・800 ・850 ・	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製
・つり戸棚	・1,200 ・900	・450	・500 ・700	市販品
・水切り	・1,200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・１段式　・

品質、性能　・図示による　・
形状　・図示による　・

項目：旗竿

材質	形式	高さ（m）	操作方法	固定方法	備考
・アルミニウム合金製 ・	・テーパー型 ・同一断面型	・	・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込み式 ・ベース式 ・バンド式	

項目：旗竿受金物

材種　・ステンレス製（SUS304）　・

項目：車止めの支柱

形式		材種	柱径・肉厚（mm）	高さ（mm）
・上下式鎖内蔵型	・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製 ・	・	・ ・
・				

項目：フェンス

フェンスの種類　・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ　・図示による　・

項目：鋼製書架及び物品棚

種類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架 ・鋼製物品棚	JIS S 1039による	・１種　・２種　・３種 ・４種　・５種　・６種　・

項目：屋内掲示板

枠の材質　・アルミニウム製　・
表面の材質　・塩ビ発泡シート張り　・

項目：洗面カウンター

材種　・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）
・人工大理石
奥行き　・約450mm　・約600mm

項目：防煙垂れ壁

・固定式

材質	厚さ（mm）	高さ（mm）	備考
・網入り磨き板ガラス ・線入り磨き板ガラス	・6.8 ・	・500	アルミ製枠付き

・可動式

種類	材質	高さ（mm）	備考
・垂直降下式（巻取り型）	※　不燃布（不燃認定品）	・500 ・800	ガイドレール ・固定式（壁埋込み型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	・500 ・800 ・	表面仕上げ ・天井材張り ・

（注）降下機構　煙感知器連動及び手動開放装置（埋込み型）

項目：収納家具

材質形状・寸法　・図示による　・
合板、集成材、MDF、パーティクルボード等のホルムアルデヒド放散量
※　F☆☆☆☆　・

項目：屋外掲示板

照明器具　・有り　・無し
施錠　・有り　・無し

項目：敷地境界石標

種類　・コンクリートブロック製（市販品）
・花こう石類（文字記号等入り）

21 排水工事

項目：屋外雨水排水

排水管材料　(21.2.1)(表21.2.1)

材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（１種）	・B形管 ・	・図示　・	
・硬質ポリ塩化ビニル管	・ＶＰ ・ＶＵ ・ＲＳ－ＶＵ		・図示　・ ・図示　・ ・図示	
・硬質ポリ塩化ビニル管継手	・ＤＶ ・ＶＵ継手		・図示　・ ・図示　・	

基床の厚さ及び種類　・図示による　・　(21.2.2)
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料　(21.2.2)
※　接着剤　・ゴム輪
側塊の形状及び寸法　・図示による　・　(21.2.1)
排水桝の種類　・図示による　・　(21.2.1)
砂地業に用いる材料　(21.2.1)
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利地業に用いる材料　(21.2.1)
・再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石
・現場打ちの場合のコンクリート材料　(21.2.1)
※　普通コンクリート　・
設計基準強度　※　18/mm2　・
スランプ　※　15cm又は18cm　・
・現場打ちの場合の鉄筋　種類の記号　(21.2.1)
※　SD295A　・

凍上抑制層に用いる材料　・　(21.2.1)
砂を用いる場合の粒度試験　・行う　・行わない

・標準仕様書21.2.2（6）（オ）の排水桝を現場打ちとする場合の足掛け金物　(21.2.2)
・幅400mm、径22mmのステンレス製
・径22mmの防錆処理を行った鋼製
・径19mmの成樹脂被覆加工を行ったもの

・鋳鉄製ふた　種類　(21.2.1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
鋳鉄製マンホールふた	・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパ・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパ・パッキン式） ・	・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は（公社）空気調和衛生工学会SHASE-S209による。

・グレーチング　材料等　(21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	蓋縁のっき（付着量）	上面形状
・鋼製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－14用 ・Ｔ－20用	・細目 ※　普通目 ・細目	・（　） ・（　）	・凹凸形 ・ ・平形 ・
・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定 ・	・溝ふた（横断用） ・溝ふた（側溝用） ・桝ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・Ｔ－２用 ・Ｔ－６用 ・Ｔ－14用 ・Ｔ－20用	・ ・	— —	・凹凸形 ・ ・平形 ・

・埋戻し土　※　B種（標準仕様書　表3.2.1）　・　(21.2.1)

・街きょ、縁石、側溝　材料　(21.3.1)(表21.3.1)

種類	形状、寸法
・街きょ、縁石	・図示による
・L形側溝	・図示による　・
・U形側溝	・図示による　・
・U形側溝ふた	・図示による　・
・	・

砂地業の材料　(21.3.1)
・シルト　・山砂　・川砂　・砕砂
砂利事業に用いる材料　(21.3.1)
・再生クラッシャラン　・切込砂利　・切込砕石
砂利事業の厚さ　※　100（mm）　・図示による　(21.3.2)
・現場打ちの場合のコンクリート材料　(21.3.1)
※　普通コンクリート　・
設計基準強度　※　18N/mm2　・
スランプ　※　15cm又は18cm
・現場打ちの場合の鉄筋　(21.3.1)
※　ＳＤ295Ａ　・
凍上抑制層に用いる材料　(21.3.1)
砂を用いる場合の粒度試験　行う　・行わない

22 舗装工事

・路床　路床の座量　(22.1.3)(22.2.2)(22.2.3)

種別	材料	厚さ（mm）
・盛土	標準仕様書　表3.2.1による ・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種	・図示による ・
・凍上抑制層	※　再生クラッシャラン　・クラッシャラン ・切込み砂利 ・砂	・図示による ・

透水性舗装に用いるフィルター層の厚さ
・図示による　・

路床安定処理　・適用する　・適用しない　(22.2.2)(22.2.3)
安定処理の方法　・置き換え工法　・安定処理工法
添加材料　(表22.2.1)
種類　・普通ポルトランドセメント
・高炉セメントＢ種
・フライアッシュセメントＢ種
・生石灰（　・特号　・１号　）
・消石灰（　・特号　・１号　）
添加量を定めるために用いるCBR（　）　(22.2.4)

試験
路床土の支持力比（CBR）試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験（現場密度）　・行う　・行わない
現場CBR試験　・行う　・行わない

・路盤　路盤の厚さ　・図示による　・　(22.3.2)(22.4.1)(22.5.1)
(22.6.1)(22.7.1)(22.8.1)
路盤材料　(22.1.3)(22.3.3)(表22.3.1)
※　再生クラッシャラン
・クラッシャラン　・粒度調整砕石
※　再生粒度調整砕石　・クラッシャラン鉄鋼スラグ
・粒度調整鉄鋼スラグ　・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ

・アスファルト舗装　アスファルト舗装の構成及び厚さ　(22.4.2)
※　図示による　・
材料　(22.1.3)(22.4.3)
アスファルト　※　再生アスファルト（　・60～80　・80～100　）
・ストレートアスファルト

加熱アスファルト混合物の種類　(22.4.4)(表22.4.4)

区分	地域	種類
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物（13Ｆ）

試験　(22.4.6)
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　(22.4.2)
※　通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

・コンクリート舗装　コンクリート舗装の厚さ　(22.5.2)

舗装の種類	部位	構成	厚さ（mm）
コンクリート舗装	歩行者用通路	・図示　・	※　70　・図示
	車路及び駐車場	・図示　・	・図示　・

材料　(22.5.3)
コンクリート
※　普通コンクリート、標準仕様書　表22.5.1による
・図示による
早強ポルトランドセメント　・使用する　・使用しない
注入目地材料　※　低弾性タイプ　・高弾性タイプ
施工　(22.5.4)
目地
種類、間隔、構造
※　標準仕様書　表22.5.3及び　図22.5.1による
・図示による
舗装の平たん性　(22.5.2)
※　通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

・カラー舗装
・加熱系カラー舗装　(22.6.2～22.6.4)(表22.6.1)
構成・厚さ　・図示による　・
表層に用いる加熱系混合物の結合材
・アスファルト混合物
・石油樹脂系混合物　顔料の添加量（　%）
加熱系混合物に添加する材料　(22.6.6)
・着色骨材（　）
・自然石（　）
アスファルト混合物の抽出試験
・行う　・行わない

・常温系カラー舗装　(22.6.2～22.6.4)(表22.6.1)
工法　・ニート工法　・塗布工法
着色部の下部　・アスファルト舗装　・コンクリート舗装
ニート工法及び塗布工法の配合等　・

舗装の平たん性　(22.6.6)
※　通行の支障となる水たまりを生じない程度
・

・透水性アスファルト舗装
舗装の構成　・図示による　・　(22.7.2)
材料　(22.1.3)(22.7.3)
アスファルト　※　再生アスファルト（　・60～80　・80～100　）
・ストレートアスファルト

試験　(22.7.6)
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　(22.7.2)
※　著しい不陸がないもの　・

・ブロック系舗装
・コンクリート平板舗装　(22.8.2)(22.8.3)

種類	寸法（mm）	厚さ（mm）	目地材
・普通平板（N） ・透水性平板（P） ・保水性平板（M）	・300角 ・	※ 60 ・	・砂 ・モルタル

クッション材　・砂　・空練モルタル　(22.8.2)
仕上がり面の平たん性　(22.8.2)
※　コンクリート平板間の段差３mm以内　・

・インターロッキングブロック舗装　(22.8.2)(22.8.3)

種類	部位	形状、寸法	厚さ（mm）	曲げ強度（N/mm2）	色彩、表面加工等
※　普通ブロック（N） ・透水性ブロック（P） ・保水性ブロック（M）	車路	・図示	※ 80 ・	※ 5.0 ・	・標準品 ・
	歩行者用通路	・図示	※ 60 ・	※ 3.0 ・	

仕上がり面の平たん性　(22.8.2)
※　インターロッキングブロック間の段差３mm以内　・
インターロッキングブロックの割付け　(22.8.4)
・図示による　・

・舗石舗装　(22.8.2)（22.8.3)

種類	形状、寸法	厚さ（mm）	割付け	基層（mm）
・小舗石（花崗岩） ・	・図示 ・	※ 80 ・	・図示 ・	・アスファルト混合物（※ 50 ・　） ・コンクリート板（※ 70 ・　）

クッション材　・砂　・空練モルタル　(22.8.2)
仕上がり面の平たん性　(22.8.2)
※　舗石間の段差３mm以内　・
舗石の割付け　(22.8.4)
・図示による　・

・砂利敷き　種別　(22.9.2)（表22.9.1)
通路　※　A種　・図示による
建築物周囲その他　※　B種　・図示による
（　）　・

23 植栽及び屋上緑化工事

・植栽地の確認等
土壌の水素イオン濃度指数（pH）試験　(23.1.3)
・行う　・行わない
電気伝導度（ＥＣ）の試験　(23.1.3)
・行う　・行わない

・植栽基盤の整備　整備内容　(23.2.2)(表23.2.1)(表23.2.2)

植栽	工法	有効土層の厚さ（cm）	整備範囲（面積）	土壌改良剤
・樹木	※　A種 ・B種 ・C種 ・D種	樹高12m以上 （ ※ 100 ・ 120 ・ 150 ） 樹高７m以上～12m未満 （ ※ 80 ・ 100 ） 樹高３m以上～７m未満 （ ※ 60 ・ 80 ） 樹高３m未満 （ ※ 50 ・ 60 ）	・業張り部分 ・植栽部分 ・図示による ・	・適用する ・適用しない
※　芝、地被類	※　B種 ・	※ 20 ・	・植栽部分 ・図示による ・	・適用する ・適用しない

植栽基盤の排水設備　(23.2.2)
（暗きょ、開きょ、排水層縦穴排水等）
・設ける（　・図示による　・　）
・設けない

・植込み用土　・現場発生土の良質土　・客土　(23.2.3)

・土壌改良材　種類、指定量　(23.2.3)(23.2.4)
・バーク堆肥
施工箇所　・植栽範囲　・図示による
指定量　植栽基盤面積１m2当たり（　・　L　・　）
・汚泥発酵肥料（下水汚泥コンポスト）
施工箇所　・植栽範囲　・図示による
指定量　植栽基盤面積１m2当たり（　・　L　・　）

・樹木　樹種、寸法、株立数　・図示による　・　(23.3.2)
刈込みものの適用　・適用する（数量：　）
・適用しない

・支柱　支柱材の種類　(23.3.2)
※　丸太（間伐材）　・真竹　・
防腐処理方法
・　※　加圧式防腐処理丸太材　・
形式　(23.3.3)
・添え柱形　・鳥居形　・ハツ掛け形
・布掛け形　・ワイヤ掛け形　・地下埋設形

・幹巻き用材料　材料　※　幹巻き用テープ　・わら　・こも　(23.3.2)

・芝　種類　(23.4.2)
※　コウライシバ　・ノシバ
芝張りの工法　(23.4.3)
平地　※　目地張り　・べた張り
法面　・べた張り　※　目地張り

・吹付けは種　種類等　(23.4.2)

種子の種類	種子の量（g/m2）	備考
※　洋芝類 ・	・ ・	

・地被類　種類等　(23.4.2)

植物の種類	芽立数	径	単位面積当たりの株数
・ ・	・ ・	・ ・	・ ・

・新樹、移植樹木、芝類の枯保証　新植樹木の枯補償の期間　(23.3.4)(23.4.7)
（芝張り、吹付けは種及び地被類を含む）
※　引渡しの日から１年　・　・無し
移植樹木の枯損処置を行う期間　(23.3.6)
※　引渡しの日から１年　・　・無し

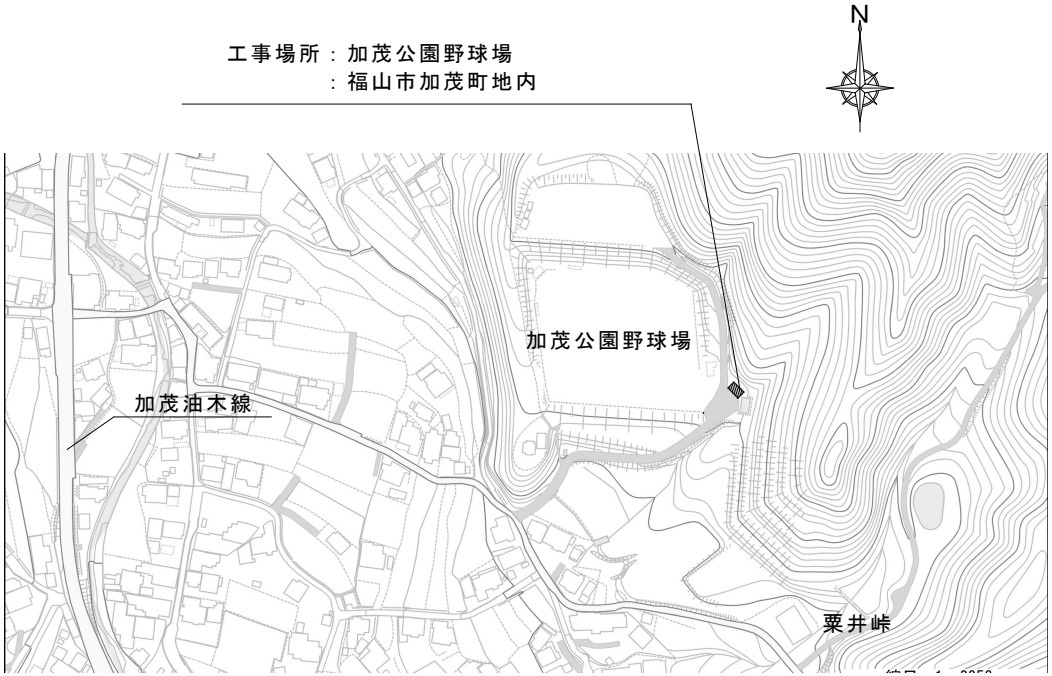
・屋上緑化　植栽基盤及び材料　(23.5.2)（23.5.3)
・屋上緑化システム
土壌層の厚さ　・図示による　・
排水層　・軽量骨材（層の厚さ：　）
・透水排水管
・板状成形品
植込み用土　※　改良土　・人口軽量土
・屋上緑化軽量システム

樹木、芝及び地被類
樹種、寸法、株立数　・図示による　・　(23.5.3)
刈込みものの適用　・適用する（数量：　）
・適用しない
見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等　(23.5.3)
・図示による　・

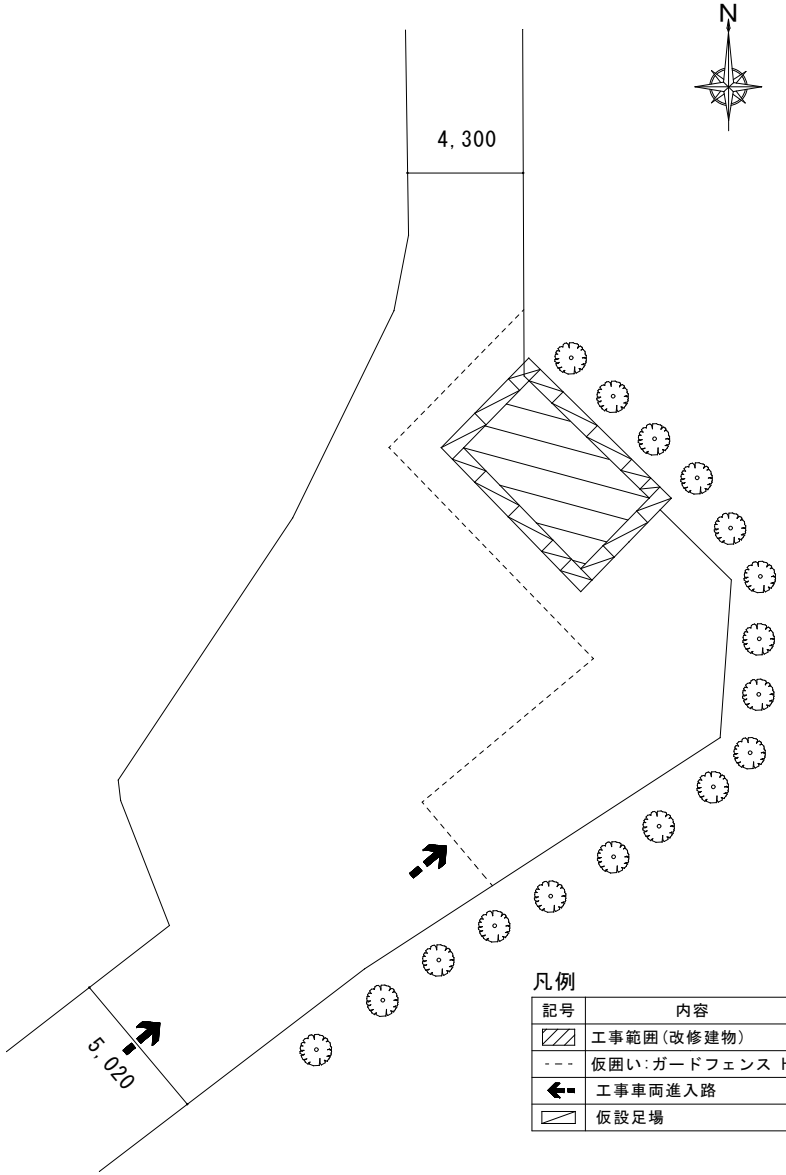
工法　(23.5.4)
建築基準法に基づく風圧力に対応した工法
・図示による　・
支柱　(23.5.4)
・設置する（形式　・図示による　・　）
かん水装置　(23.5.4)
・設置する（種類　・図示による　・　）

工事名称	加茂公園野球場便所改修工事	
図面名称	建築工事特記仕様書　No-2	尺度 図示
福山市建設局建築部営繕課		縮尺率 A1=100% A2= 71% A3= 50%　図面No 11/14

工事場所：加茂公園野球場
：福山市加茂町地内



付近見取図　S=NonScale

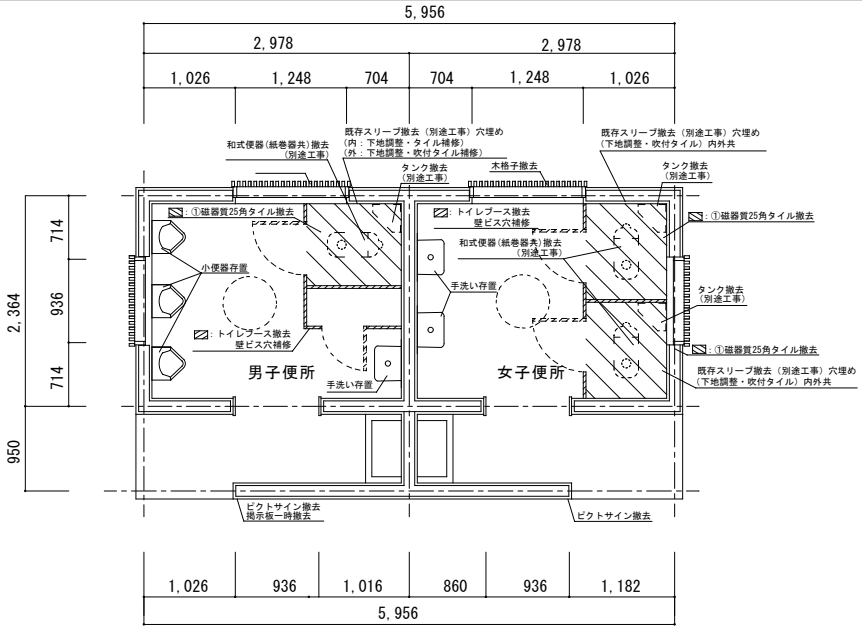


凡例

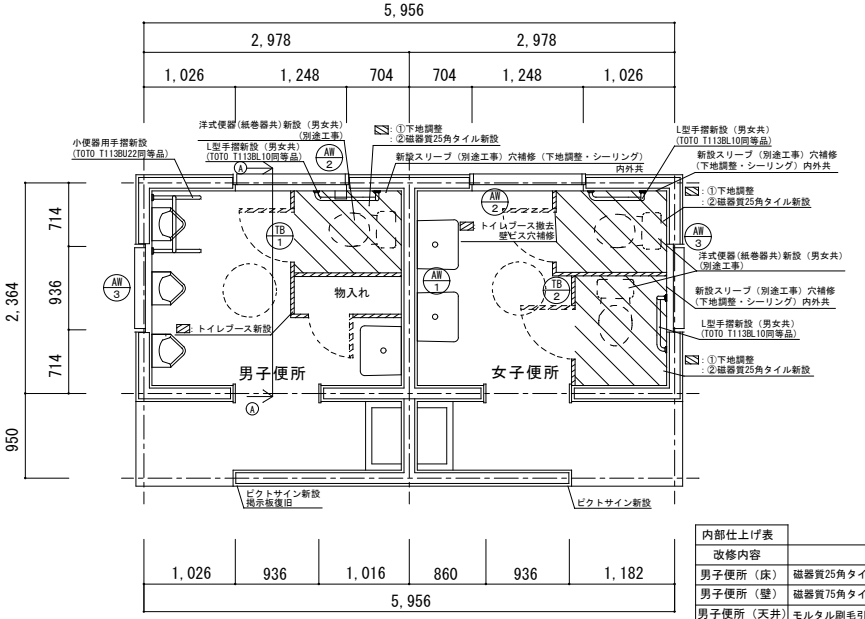
記号	内容
▨	工事範囲(改修建物)
- - -	仮囲い:ガードフェンス H=1800
⇦	工事車両進入路
▨	仮設足場

配置図　S=1/100

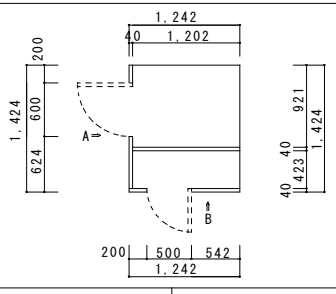
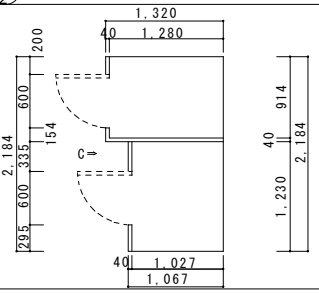
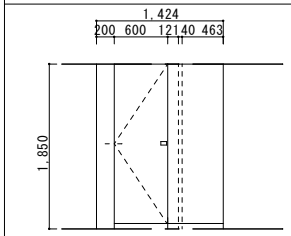
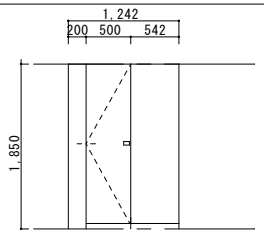
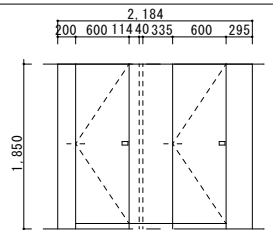
福山市建設局建築部営繕課	工事名称 加茂公園野球場便所改修工事		図面No.
設計 2026年　7月	図面名称 付近見取図・配置図	縮尺 S=1/100	12/14

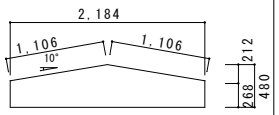
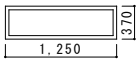
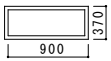


平面図(改修前)　S=1/30



平面図(改修後)　S=1/30

記号・数量	TB 1 新設：男子便所（改修後） S=1/30		TB 2 新設：女子便所（改修後） S=1/30
形状			
	A展開図	B展開図	C展開図
			
形状	トイレブース（アルミアールエッジ） 芯材：ペーパーコア　支柱タイプ	トイレブース（アルミアールエッジ） 芯材：ペーパーコア　支柱タイプ	トイレブース（アルミアールエッジ） 芯材：ペーパーコア　支柱タイプ
仕上げ・見込み	メラミン樹脂化粧版　見込40	メラミン樹脂化粧版　見込40	メラミン樹脂化粧版　見込40
金物	グラビティヒンジ・戸当り帽子掛け スライドラッチ錠（表示付き） アジャストサポート・標準金物一式	グラビティヒンジ・戸当り帽子掛け 管理用シリンダー錠・笠木(SUS) アジャストサポート・標準金物一式	グラビティヒンジ・戸当り帽子掛け 管理用シリンダー錠・笠木(SUS) アジャストサポート・標準金物一式
備考	手摺、下地補強	手摺、下地補強	手摺、下地補強

記号・数量	AW 1 新設：男女便所間仕切りパネル S=1/30	AW 2 新設：網戸 S=1/30 2	AW 3 新設：網戸 S=1/30 2
形状			
形状	アクリルパネルt＝5 乳白色		
仕上げ・見込み	アルミ枠　見込40	アルミ枠　見込40	アルミ枠　見込40
金物	標準金物一式	標準金物一式・網戸	標準金物一式・網戸

※納まり・大きさ等は、現地採寸の上決定する。

〈共通事項〉
床補修・壁補修の仕上げ材は、既存と同材・同系色とし洋式便器取付前に施工する。
塗装仕上げ色は、既存と同系色とする。
既存トイレブース高さは、全てH1,820mm
ピクトサインの内容、大きさ、設置位置は監督員と協議する。
建具廻りのシーリングを行う。
既存補修以外は内部清掃を行う。

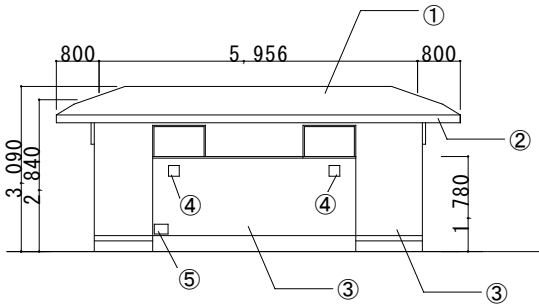
内部仕上げ表

改修内容	改修前	改修後
男子便所（床）	磁器質25角タイル(5mm)・下地モルタル(45mm)撤去	磁器質25角タイル(5mm)・下地モルタル(45mm)新設
男子便所（壁）	磁器質75角タイル(7mm)・下地モルタル(23mm)	改修なし
男子便所（天井）	モルタル刷毛引アクリル系リシン吹付	改修なし
女子便所（床）	磁器質25角タイル(5mm)・下地モルタル(45mm)撤去	磁器質25角タイル(5mm)・下地モルタル(45mm)新設
女子便所（壁）	塗装仕上げ	改修なし
女子便所（天井）	モルタル刷毛引アクリル系リシン吹付	改修なし

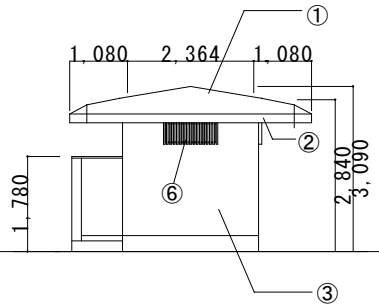
※男子便所（床）及び女子便所（床）はトイレブースの中のみ改修する。

改修前	改修後
トイレブース撤去	①壁ビス穴補修（シーリング程度）　②トイレブース新設
タンク・紙巻器撤去（別途工事）	①壁ビス穴補修（シーリング程度）　②タンク・紙巻器新設（別途工事）
床：磁器質25角タイル(5mm)・下地モルタル(45mm)一部撤去	①下地調整　②25角タイル新設
木格子撤去	網戸新設
	L型手摺新設 TOTO T113BL10同等品（3箇所）
	小便器用手摺 TOTO T113BU22（1箇所）
給水管・アングル止水栓撤去（別途工事）	スリーブ補修（下地調整・吹付タイル施工）
給水管・アングル止水栓撤去（別途工事）	スリーブ補修（下地調整・75角タイル張り）
給水管新設スリーブあけ（別途工事）	スリーブ補修（下地調整・シーリング打ち）

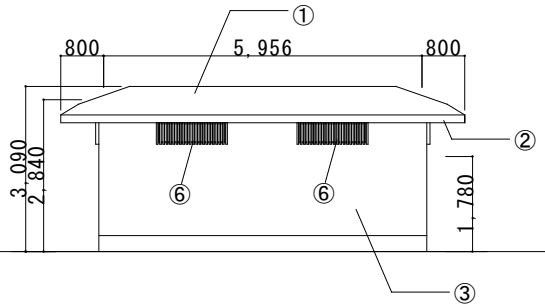
福山市建設局建築部営繕課	工事名称 加茂公園野球場便所改修工事		図面No
設計 2026年　7月	図面名称 平面図・建具表	縮尺 S=1/30	13/14



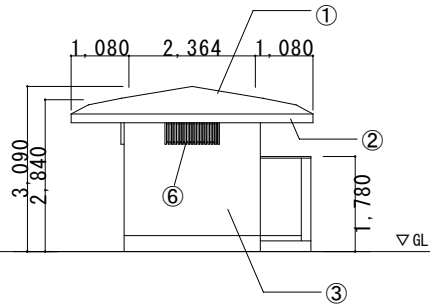
南側立面図　S=1/50



東側立面図　S=1/50



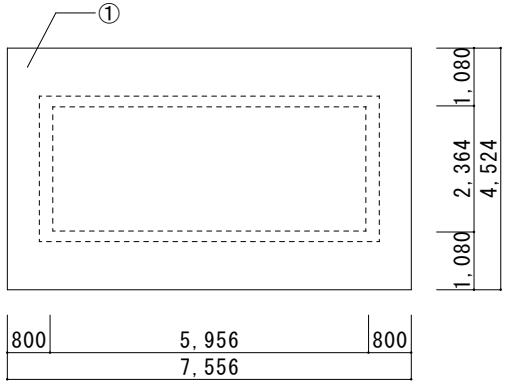
北側立面図　S=1/50



西側立面図　S=1/50

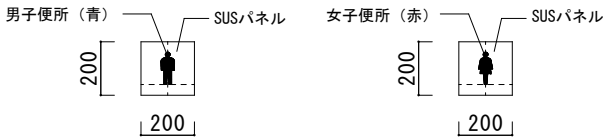
外部仕上表			
改修箇所	凡例	改修前	改修後
屋　根	①	防水モルタル下地、アスファルトルーフィング	1既存アスファルトルーフィング撤去（下地共）2水洗い　3下地調整　4ウレタン塗膜防水X-2
軒　裏	②	アクリル系リシン吹付	1外壁劣化調査　2劣化改修　3水洗い　4下地調整の上　5外装薄塗材E塗り
外　壁	③	エポキシ系エマルション吹付	1外壁劣化調査　2劣化改修　3水洗い　4下地調整の上　5複層薄塗材E吹付
その他	④	ピクトサイン撤去（220×250）	ピクトサイン新設（200×200）
	⑤	掲示板一時撤去	掲示板復旧
	⑥	木格子撤去	網戸新設

※劣化改修時のはつり作業において外装材アスベストレベル3を見込んでいる。



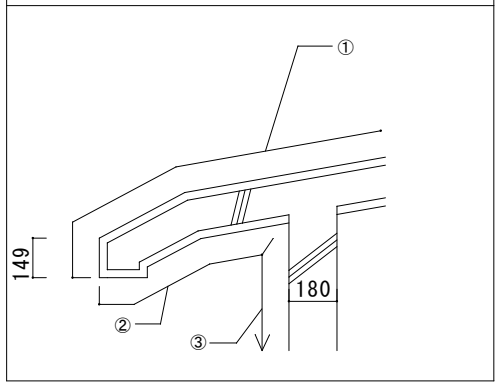
屋根伏図　S=1/50

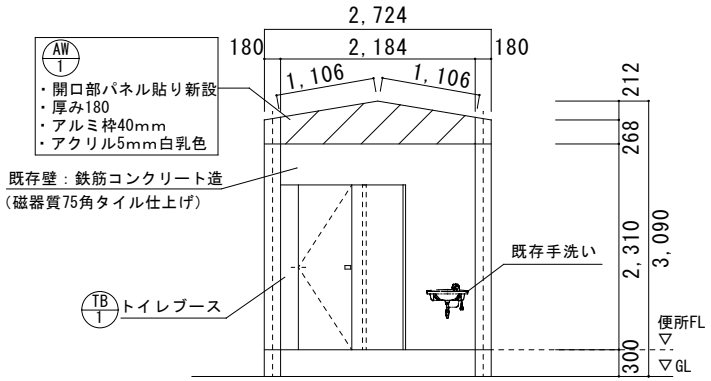
ピクトサイン　S=1/10



※　取り付け位置、仕様については監督員の承認を得ること。

矩計図（軒先）　S=1/10





Ⓐ展開図（改修後）　S=1/30

福山市建設局建築部営繕課	工事名称 加茂公園野球場便所改修工事		図面No.
設計 2026年　7月	図面名称 立面図・屋根伏図・矩計図・展開図	縮尺 S=1/50・S=1/10・S=1/30	14/14

参考数量書

§工事名称　　加茂公園野球場便所改修工事

§工事場所　　福山市加茂町地内

特記事項

1　この数量書は、福山市建設工事請負契約約款１条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。

2　数量の算出は次の基準によっています。

※「建築数量積算基準・同解説」　　（建築工事積算研究会制定）

設　　計　　書

工事名称　　加茂公園野球場便所改修工事

工事場所　　福山市加茂町地内

・便所改修工事　　一式

【別途工事】
・給排水衛生設備工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直接工事費				
直　接　工　事　費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
直　接　工　事　費	1	式		
計				

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
公衆便所改修工事	1	式		
計				

公衆便所改修工事

名　　称	数　　量	単位	金　　額	備　　考
仮　設	1	式		
防　水	1	式		
内　装	1	式		
建　具	1	式		
塗　装	1	式		
仕上ﾕﾆｯﾄ	1	式		
劣化改修	1	式		
とりこわし	1	式		
産業廃棄物処理費等	1	式		
計				

公衆便所改修工事

科　目　名　称	中　科　目　名　称	数　量	単位	金　　額	備　　考
仮　設	直接仮設	1	式		
計					
防　水		1	式		
計					
内　装		1	式		
計					
建　具		1	式		
計					
塗　装		1	式		
計					
仕上ﾕﾆｯﾄ		1	式		
計					
劣化改修		1	式		
計					
とりこわし		1	式		
計					
産業廃棄物処理費等		1	式		
計					

公衆便所改修工事　仮　設　直接仮設

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
養生(外壁改修)		53	㎡			
整理清掃後片付け(外壁改修)		53	㎡			
養生(屋上防水改修)		34.1	㎡			
整理清掃後片付け(屋上防水改修)		34.1	㎡			
養生(内部改修)	内部改修	9	㎡			
整理清掃後片付け(内部改修)	内部改修	9	㎡			
くさび緊結式足場(手すり先行方式)	W600 掛払い手間,運搬費,維持管理費共 10m未満　30日	77.3	㎡			
安全手すり(手すり先行方式)	くさび緊結式足場用 掛払い手間，運搬費，維持管理費共 30日	18.5	m			
養生ｼｰﾄ張り	防炎Ｉ類 掛払い手間，運搬費，維持管理費共 30日	77.3	㎡			
内部仕上足場		1	式			
計						

公衆便所改修工事　　防　水

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
下地調整 改修仕様 (塗膜防水)	下地処理・ｸﾗｯｸ処理	37	㎡			
ｹﾚﾝ・清掃	防水面 ｹﾚﾝ・清掃	37	㎡			
水洗浄	防水改修 水洗い 加圧力15MPa程度(150～200kg/cm2)	37	㎡			
ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系 塗膜防水	X-2　　平面	33.5	㎡			
ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系 塗膜防水	X-2　　立上り	3.5	㎡			
建具廻りｼｰﾘﾝｸﾞ	変成ｼﾘｺｰﾝ	22.8	m			
計						

公衆便所改修工事　　内　装

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
床タイル補修	磁器質25角ﾀｲﾙ　3㎡程度 ﾓﾙﾀﾙ塗り含む	1	式			
壁　補修 スリーブ等	スリーブ撤去部 磁器質75角タイル	1	式			
壁　補修 スリーブ等	スリーブ撤去部 下地調整・吹付タイル	1	式			
壁 ﾋﾞｽ穴等 補修	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去部・スリーブ補修（改修後） ｼｰﾘﾝｸﾞ程度	1	式			
水洗浄	内部清掃（床、壁のみ） 水洗い程度	30	㎡			
計						

公衆便所改修工事　　建　具

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設	TB-1 材工共	1	式			
ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ新設	TB-2 材工共	1	式			
運搬費	ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ	1	式			
開口部パネル貼り新設	AW-1 ﾊﾟﾈﾙｼｰﾘﾝｸﾞ含む	1	式			
網戸サランネット新設	AW-2 材工共	2	か所			
網戸サランネット新設	AW-3 材工共	2	か所			
運搬費・取付施工費	開口部パネル・網戸サランネット	1	式			
計						

公衆便所改修工事　　塗　装

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
水洗浄	内装改修 水洗い 加圧力15Mpa程度	58	㎡			
外装薄塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　砂壁状 吹付け 下地調整費(C-1)共　19㎡	1	式			
複層塗材 E	ｺﾝｸﾘｰﾄ面　ゆず肌状 ﾛｰﾗｰ塗り ｱｸﾘﾙ系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費(C-1)共	39	㎡			
計						

公衆便所改修工事　　仕上ﾕﾆｯﾄ

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
L型手摺取付	ｽﾃﾝﾚｽﾀｲﾌﾟ L600+600(既製品) TOTO T113BL10 同等品 材工共	3	か所			
小便器用手摺取付	ｽﾃﾝﾚｽﾀｲﾌﾟ(既製品) TOTO T113BU22 同等品 材工共	1	か所			
ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ	杉田ｴｰｽ NP-AS200同等品 材工共	2	か所			
計						

公衆便所改修工事　　劣化改修

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
施工数量調査 (外壁改修)	打放し面･仕上塗材改修	58	㎡			
Ｂ－６ ﾓﾙﾀﾙ面Uｶｯﾄｼｰﾙ材 注入工法	1.0mm以上　挙動　有り	0.9	m			
D-1 ﾓﾙﾀﾙ面はつり		0.2	㎡			
石綿仕上げ塗材除去	壁厚 5mm程度 集塵機付ﾃﾞｨｽｸｸﾞﾗｲﾝﾀﾞｰ工法	0.8	㎡			
計						

公衆便所改修工事　とりこわし

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
床ﾀｲﾙ撤去	下地ﾓﾙﾀﾙ共 集積共	3	㎡			
ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ撤去	扉共	3.4	㎡			
ｻｲﾝ撤去		2	か所			
掲示板一時撤去・復旧		1	式			
ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ撤去		37	㎡			
ｱｽﾌｧﾙﾄｼﾝｸﾞﾙ下地ﾓﾙﾀﾙ撤去	集積共	37	㎡			
木格子撤去		4	か所			
計						

公衆便所改修工事　産業廃棄物処理費等

名　称	摘　要	数　量	単位	単　価	金　額	備　考
発生材運搬費	がれき	0.1	t			
発生材運搬費	一般	0.1	t			
発生材運搬費	石綿含有産業廃棄物	0.1	t			
建設廃材処理費	がれき	0.1	t			
建設廃材処理費	一般	0.1	t			
発生材処理費	石綿含有産業廃棄物	0.1	t			
計						

名　　称	摘　　要	数　量	単位	単　価	金　　額	備　　考
仮囲い	ｶﾞｰﾄﾞﾌｪﾝｽ　H=1.8m 設置,撤去,運搬,基本料,賃料共 60日	30	m			
計						